

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	担い手支援係
担当者		林田 祐哉	直通	25-5036	内線	3154

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	32
②事業名	担い手確保・育成支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

農業の担い手の確保・育成等の支援事業に取り組む亀岡地域農業再生協議会への助成事業として実施しています。亀岡地域農業再生協議会では、担い手への農地集積、京のブランド野菜等の産地づくりや地域農場づくりのための農業者の交流会の開催及び新規就農支援などの農業振興施策の展開により、経営感覚に優れた地域の担い手の支援を行っています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	認定農業者数累計 計90名	認定農業者数 (5名減少、計81名)	亀岡地域農業再生協議会活動経費 500,000円
平成24年度	認定農業者数累計 計92名 (うち新規就農者 2名増)	認定農業者数 (11名増加、計92名)	亀岡地域農業再生協議会活動経費 500,000円
平成25年度	認定農業者数累計 計94名 (うち新規就農者 4名増)	認定農業者数 (6名増加、1名廃業 計97名)	亀岡地域農業再生協議会活動経費 600,000円
平成26年度	認定農業者数累計 計96名 (うち新規就農者 6名増)	認定農業者数 (8名増加、計104名)	亀岡地域農業再生協議会活動経費 500,000円
平成27年度	認定農業者数累計 計120名 (うち新規就農者 10名増)	認定農業者数 (22名増加、計126名)	亀岡地域農業再生協議会活動経費 500,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

- 進捗度：〈500名（23・24・25・26・27実績計）〉÷492名（23～27目標累計）＝1.016＝101%
- 認定農業者とは＝本人が経営規模拡大や、経営内容改善など5年後の目標を「農業経営改善計画」として作成し、その計画が実行可能と判断できる場合、計画の認定を行うとともに、実現のために関係機関が支援を行っていく制度。（認定期間5年）

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの認定農業者数については、目標に対して実績が100%となりました。新規就農支援や、担い手への農地集積などの農業振興施策を展開しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

認定農業者のフォローアップに努め、経営内容の改善に向けて支援していく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、引き続き新規就農支援と併せて、経営感覚に優れた地域の中心となる担い手の育成支援を行っていくこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	担い手支援係
担当者		林田 祐哉	直通	25-5036	内線	3154

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	集落営農育成強化助成事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

集落営農組織が行う担い手農業者の育成を目的とした技術向上のための研修等に対する補助や、地域の実情に適した継続性のある生産体制の構築と実践に向けた集落営農組織の強化を目指した受託組織の設立、強化、さらには、法人化に向けた機械整備や規模拡大への取り組みに対して支援することにより、深刻化する担い手不足の解消を図り、地域農業を担う認定農業者の増加を目指すほか、個別営農から受託組織等へと農業形態を進めることにより効率的かつ安定的な農業を目指すことを目的としています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	認定農業者数累計 計90名	認定農業者数 (5名減少、計81名)	6,396,100円
平成24年度	認定農業者数累計 計92名 (うち新規就農者 2名増)	認定農業者数 (11名増加、計92名)	6,400,400円
平成25年度	認定農業者数累計 計94名 (うち新規就農者 4名増)	認定農業者数 (6名増加、1名廃業 計97名)	5,031,300円
平成26年度	認定農業者数累計 計96名 (うち新規就農者 6名増)	認定農業者数 (8名増加、計104名)	5,044,100円
平成27年度	認定農業者数累計 計120名 (うち新規就農者 10名増)	認定農業者数 (22名増加、計126名)	5,045,100円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

- 進捗度：〈500名（23・24・25・26・27実績計）〉÷492名（23～27目標累計）＝1.016＝101%
- 認定農業者とは＝本人が経営規模拡大や、経営内容改善など5年後の目標を「農業経営改善計画」として作成し、その計画が実行可能と判断できる場合、計画の認定を行うとともに、実現のために関係機関が支援を行っていく制度。（認定期間5年）

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの認定農業者数については、目標に対して実績が100%となりました。新規就農支援や、担い手への農地集積などの農業振興施策を展開しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

認定農業者のフォローアップに努め、経営内容の改善に向けて支援していく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、引き続き経営感覚に優れた地域の中心となる担い手の育成支援を行っていくこととし、深刻化する担い手不足の解消を図り、地域農業を担う認定農業者の増加を目指すほか、個別営農から受託組織等へと集落営農を進めることにより効率的かつ安定的な農業展開ができるよう支援します。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農地整備課	係	国営事業係
担当者		中川英彰	直通	0771-25-5037	内線	3172

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	33
②事業名	国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

桂川右岸地域の未整備田を対象に国営緊急農地再編整備事業の導入により、土地基盤整備を広域的に取り組み、生産性の向上と農業経営の合理化や、担い手への農地の利用集積を促進し、耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図り、亀岡農業の再生に取り組みます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	地域整備方向検討調査	事業範囲の概定 整備構想図の作成	20,000,000円 (国直轄事業)
平成24年度	地区調査 (調査区域：6地域)	事業計画案の策定 仮同意の徴集	69,000,000円 (国直轄事業)
平成25年度	地区調査 (調査区域：6地域) 土地改良法手続き	事業計画案の策定 土地改良法手続きの実施 施行申請同意(本同意)の徴集	103,000,000円 (国直轄事業)
平成26年度	事業着手 換地作業 実施設計	事業着手(事業計画確定) 換地作業 実施設計	220,000,000円 (国直轄事業)
平成27年度	実施設計 換地作業 面整備 12ha (亀岡市全体整備率：56.9%)	実施設計 換地作業 面整備 0ha (亀岡市全体整備率：56.4%)	800,000,000円 (国直轄事業)

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

25年度地区調査完了により50%の達成率とし、26年度以降は事業費ベースでの進捗率としています。
(国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」 総事業費 150億円)

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

事業着手に向けた地区調査が完了し、土地改良法手続きを行い事業計画の確定ができた。また、各工区の実施工程に基づき、地元換地委員において換地選定作業、実施設計を進めてきました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成27年度に本梅工区、佐伯工区の工事着手の予定でしたが、換地選定における地元調整に時間を要しているため、早期に調整を行い、換地計画原案の同意徴集後、工事着手をしていく必要があります。

- 換地選定に向けた調整事項の整理
- 換地計画原案同意の徴集
- 早期の工事着手

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、換地計画原案の同意徴集を行い、早期に工事着手ができるよう、国、府、市が一体となり、地元役員と調整を図っていきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	担い手支援係
担当者		佐藤 陽介	直通	25-5036	内線	3153

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	農業経営法人化支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

厳しい市場状況を勝ち抜くには、農業者の経営強化に向けた取り組みが必要となっています。
 こうしたことから、京都府農業会議「法人化請負人」と連携して、集落型農業法人を目指す組織を対象に法人化へ向けた研修会の開催や、農業法人設立志向農業者・集落営農組織を対象に関係機関と連携のもと、法人化までの手続き、税務・経営相談を実施します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	集落営農法人設立数累計 5 法人	集落営農法人数 5 法人	0円
平成24年度	集落営農法人設立数累計 6 法人	集落営農法人数 6 法人	0円
平成25年度	集落営農法人設立数累計 8 法人	集落営農法人数 6 法人	0円
平成26年度	集落営農法人設立数累計 8 法人	集落営農法人数 6 法人	0円
平成27年度	集落営農法人設立数累計 8 法人	集落営農法人数 6 法人	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

集落営農法人数 実績 29（5+6+6+6+6）法人÷目標 35（5+6+8+8+8）法人＝82.8%

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの集落営農法人設立数については、目標に対して実績が82.8%となりました。京都府農業会議と連携して、法人設立に向けた相談や研修会への案内などの支援を実施しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

京都府農業会議「法人化請負人」と連携して、農業者の経営強化に向けた農業法人設立への取組を支援していく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、引き続き集落型農業法人を目指す組織を対象に法人化に向けた研修会の開催や関係機関との連携を図っていくこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農地整備課	係	土地改良係
担当者		鹿島睦啓	直通	0771-25-5183	内線	3174

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	2	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	土地改良施設整備事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

農村地域における都市化・混在化・高齢化などが進む中、土地改良区等施設管理者による農業水利施設の維持管理を支援するとともに、老朽化が進む施設の整備改修を行い円滑かつ適正な管理により、地域農業の持続的な発展と農村振興を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	用水路等改修事業（804m） ため池改修事業（0.25箇所）	用水路改修事業（804m） ため池改修事業（0.25箇所）	39,520,000円
平成24年度	ため池改修事業（0.5箇所） 揚水機等改修事業（1箇所） 農道整備事業（2,500m） 用水路等改修事業（70m）	ため池改修事業（0.5箇所） 揚水機等改修事業（1箇所） 農道整備事業（2,500m） 用水路等改修事業（313m）	103,382,000円
平成25年度	ため池改修事業（0.25箇所） 農道整備事業（5,184m） 用水路等改修事業（273m） 揚水機等改修事業（1箇所）	ため池改修事業（0.25箇所） 農道整備事業（21,681m） 用水路等改修事業（283m） 揚水機等改修事業（1箇所）	153,492,000円
平成26年度	ため池改修事業（調査設計*2箇所） 用水路等改修事業（調査設計*1箇所）	ため池改修事業（2箇所） 揚水機等改修事業（1箇所）	25,000,000円
平成27年度	ため池改修事業（調査設計*5箇所） 用水路等改修事業（1箇所）	ため池改修事業（調査設計*1箇所）	13,000,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度を目標年次として想定している土地改良施設改修事業の事業量（主たるもの）は、用排水路改修1,147m、ため池改修等8箇所、農道整備7,684m、揚水機等改修2箇所としている。これに対して実績は、事業量で用排水路改修1,400m、ため池改修4箇所、農道整備23,896m、揚水機等改修2箇所であるため、達成率を87.5%とします。（用水100%、ため池50%、農道100%、揚水100%）

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの土地改良施設の改修状況は、事業量から全体で見ると達成率87.5%であるが、個々で見ると農道整備については目標の3倍以上の事業実績も見受けられる。このことから総合的に判断すると、概ね順調な事業進捗が図れ、また、土地改良施設改修事業の実施により、地域の安全安心並びに安定した農業経営の確保に寄与したと考える。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

地域農業の持続的な発展ならびに防災減災の観点からも、当該事業の必要性は高いものであるが、事業費も大きくなるため財源の確保が急務であった。また、土地改良事業であるため受益者負担金が伴うことから、十分に合意形成を図った上で事業実施する必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業実施していくこととし、早期に関係者との合意形成を図るとともに、国・府に対しても積極的に要望活動を行うなど財源確保に努める。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調査

主管部課係	部等		課	農業委員会	係	
担当者		大西利幸	直通	0771-25-5059	内線	4132

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	2	具体的施策	5	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	耕作放棄地全体調査									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

農地の保全と有効利用が一層難しくなり、遊休荒廃化の危機が進行しています。
国の施策である農地の有効活用を図るには、現状を的確に把握した上で、所有者の意向を聞く中、それぞれ地域の実情に応じたきめ細やかな対策を地域の農業者、農業団体と力をあわせて、優良農地の確保と耕作放棄地の活用、担い手への農地集積など効率的な農地の利用調整活動を行う必要があります。
このため、平成24年度農地制度実施円滑化事業として行う調査等は、農地法30条で規定された、「利用状況調査」を兼ね、耕作放棄地調査を行うものです。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	市内の全農地を対象に耕作放棄地について、現況を確認し区分を決定し、区分に応じ今後の対応に関して農業関係団体等と協議調整を行う。	平成23年12月に市内全域で、農業委員会が農業関係団体（営農・農家組合、土地改良区、区）などの協力を得て実施。	1,005,930 円
平成24年度	市内の全農地を対象に耕作放棄地について、現況を確認し区分を決定し、区分に応じ今後の対応に関して農業関係団体等と協議調整を行う。	平成24年11月から市内全域で、農業委員会が農業関係団体（営農・農家組合、土地改良区、区）などの協力を得て実施。	884,338 円
平成25年度	市内の全農地を対象に耕作放棄地について、現況を確認し区分を決定し、区分に応じ今後の対応に関して農業関係団体等と協議調整を行う。	平成25年11月から市内全域で、農業委員会が農業関係団体（営農・農家組合、土地改良区、区）などの協力得て実施。	473,760 円
平成26年度	市内の全農地を対象に耕作放棄地について、現況を確認し区分を決定し、区分に応じ今後の対応に関して農業関係団体等と協議調整を行う。	平成26年11月から市内全域で、農業委員会が農業関係団体（営農・農家組合、土地改良区、区）などの協力得て実施。	640,000 円
平成27年度	市内の全農地を対象に耕作放棄地について、現況を確認し区分を決定し、区分に応じ今後の対応に関して農業関係団体等と協議調整を行う。	平成27年11月から市内全域で、農業委員会が農業関係団体（営農・農家組合、土地改良区、区）などの協力得て実施。	808,556 円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

- 前年までに確認をした原野化した農地（非農地対象地）について再度地域農業関係者と現状の確認を行うものです。
- 前年度以降新たに発生した耕作放棄地について調査をします。
※継続的な調査事業であり、毎年度調査を実施しました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

調査を行う中で、遊休状態の農地については、農業委員や地元役員から営農再開を促し、復元不可能な農地については、所有者に非農地証明の手続きを地元役員や事務局から案内し、手続き完了の農地については農地台帳から削除しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

今後、農業者の高齢化・後継者不足により、耕作放棄地は増加すると思われます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

前期同様に、市内全域にわたって農地の利用状況を調査し、遊休・荒廃農地の所有者に利用意向を確認するとともに、農地中間管理事業の活用を指導するなど、遊休農地の解消や適切な利用促進に努めます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	食農交流係
担当者		西川 美里	直通	25-5036	内線	3153

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	安全・安心のエコ農業推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

低農薬等により安全で安心な農産物を栽培するエコファーマーを支援するため、エコファーマーの新規取得に係る経費や、エコファーマーロゴマークの作成経費等に対して助成を行い、亀岡市内で販売される安全で安心な農産物の販売量を増やします。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	エコファーマー数 140件	エコファーマー数 139件 （2法人、138名）	315,930円
平成24年度	エコファーマー数 145件	エコファーマー数 123件 （2法人、122名）	326,189円
平成25年度	エコファーマー数 150件	エコファーマー数 122件 （2法人、121名）	298,599円
平成26年度	エコファーマー数 155件	エコファーマー数 94件 （2法人、93名）	445,281円
平成27年度	エコファーマー数 160件	エコファーマー数 78件 （2法人、77名）	325,741円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度までの累計目標件数を750件としており、平成27年度までの累計実績が556件であることから、進捗度を74%とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

低農薬等により安全で安心な農産物を栽培するエコファーマーを支援するため、エコファーマーの新規取得に係る経費や、エコファーマーロゴマークの作成経費等に対して助成を行いました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

エコファーマー数が減少傾向にあることから、エコファーマーの新規登録者が増加するよう、制度を知っていただく機会や周知方法の検討が必要となっています。また、エコファーマーの安全・安心な農産物を買いたいという消費者が増えるよう、消費者への広報・PRにも積極的に取り組む必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

新規加入も少なく、5年更新を行わない農家も多いため、更新時期には本市からも声掛けをするなど確実に更新をしていただけるような仕組み作りが必要となっています。また、消費者にエコファーマーについて知っていただき、環境にやさしい安全・安心な農作物を選んでいただけるよう理解を促す機会を設けて、PRにも積極的に取り組みます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	食農交流係
担当者		西川 美里	直通	25-5036	内線	3153

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	安全・安心の農産物栽培支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市内で製造された畜産堆肥を農地へ還元し、自然と調和した農業の推進と、安全・安心を求める消費者ニーズに合った農産物の生産を進める環境にやさしい営農の取り組みに対して支援を行います。
また、多くの農業者が購入しやすいよう、亀岡市農業公社で製造している本市優良畜産堆肥「さくら有機」の値引きを行う他、自然と調和した農業の推進を図る「亀岡カーボンマイナスプロジェクト」のメンバーである農業者に対し、必要な炭堆肥の販売価格の値引きを行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	120農家組合のうち5割以上が市内で製造された畜産堆肥を使用	・助成金交付件数 37件 ・農家組合数にして 50組合	9,499,790円
平成24年度	120農家組合のうち5割以上が市内で製造された畜産堆肥を使用	・助成金交付件数 37件 ・農家組合数にして 55組合	10,590,380円
平成25年度	120農家組合のうち5割以上が市内で製造された畜産堆肥を使用	・助成金交付件数 37件 ・農家組合数にして 50組合	10,404,065円
平成26年度	120農家組合のうち5割以上が市内で製造された畜産堆肥を使用	・助成金交付件数 32件 ・農家組合数にして 45組合	7,931,025円
平成27年度	120農家組合のうち5割以上が市内で製造された畜産堆肥を使用	・助成金交付件数 32件 ・農家組合数にして 45組合	8,265,875円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度までの累計目標件数を300件としており、平成27年度までの累計実績が245件であることから、進捗度を81%とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

市内で製造された畜産堆肥を農地へ還元し、自然と調和した農業の推進と、安全・安心を求める消費者ニーズに合った農産物の生産を進める環境にやさしい営農の取り組みに対して支援をしました。

具体的には、亀岡市農業公社で製造している優良畜産堆肥「さくら有機」の値引きや、自然と調和した農業の推進を図る「亀岡カーボンマイナスプロジェクト」のメンバーである農業者に対し、必要な炭堆肥の販売価格の値引きなどの助成を行いました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

利用農家は減少傾向にあり、制度についての更なる周知が必要です。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

畜産堆肥などを利用した安全・安心な農産物を生産し、市民へ提供することにより食の安全・安心を向上させること、及び自然と調和した持続可能で付加価値の高い農業の推進を目指すことが、結果として亀岡ブランドの確立と地域の活性化につながるため、今後も安全・安心の農産物栽培支援を今後も積極的に推進していきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	食農交流係
担当者		河北 純季	直通	25-5036	内線	3154

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	中山間地域等直接支払推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

中山間地域等直接支払制度の取り組みにより、耕作放棄地の発生防止、多面的機能の維持・増進、農業生産活動の継続的实施、集落機能の活性化を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	対象農用地において継続的な農業生産活動を行う農業者等に対して交付金を交付	・対象 17集落協定 ・交付金額 39,936,446円	40,436,446円
平成24年度	対象農用地において継続的な農業生産活動を行う農業者等に対して交付金を交付	・対象 17集落協定 ・交付金額 39,988,211円	40,488,211円
平成25年度	対象農用地において継続的な農業生産活動を行う農業者等に対して交付金を交付	・対象 17集落協定 ・交付金額 39,940,625円	40,440,625円
平成26年度	第3期対策の完了	・対象 17集落協定 ・交付金額 40,424,948円	40,924,948円
平成27年度	第4期対策開始 各集落と協定を締結	・対象 17集落協定 ・交付金額 40,911,038円	41,382,838円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

27年度から31年度までの第4期対策について、各集落と協定を締結し、対象農用地においても集落協定に基づき、適切な農業生産活動等が実施されているため進捗度は100%としました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

中山間地域は、高齢化が進展する中で平地に比べ自然的・経済的・社会的条件が不利な地域であるが、当該事業により、耕作放棄地化の防止、多面的機能の発揮の維持・促進、経済的不利地の補正につながっている。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

高齢化が進み、パソコン等による事務作業が困難となっている他、担い手不足も進み、農地の維持、管理の継続も困難となっている。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

28年度以降についても、引き続き事業を展開することとし、中山間地域等直接支払交付金実施要領に基づき、協定参加者及び京都府とも連携をしながら進めていく。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	担い手支援係
担当者		佐藤 陽介	直通	25-5036	内線	3153

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	農地・水・環境保全向上活動支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

農地・農業用水等の資源について、活動組織や体制強化された組織が行う、草刈り、泥上げ、農道の砂利補充などの農地、水路等の資源の日常の管理と、水質保全、生態系保全などの農村環境の向上のための活動を支援します。

また、施設の老朽化等への幅広い対応や集落のコミュニティ機能向上のため、地域に根ざした活動組織を核とした、地域主体の保全管理等の取組を支援します。

なお、平成26年度から事業名等若干の制度変更があり、名称が「多面的機能支払制度」となっています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・ 共同活動第一期の完了 ・ 向上活動全要望地区の採択	・ 共同活動の体制整備構想を全地区承認 ・ 向上活動の全要望地区を採択決定	41,373,734円
平成24年度	・ 共同活動第二期全要望地区の採択 ・ 向上活動追加要望地区の採択	・ 共同活動第二期の全要望地区を採択決定 ・ 向上活動の追加要望のあった全地区を採択決定	35,114,107円
平成25年度	・ 共同活動の適正な事業推進の支援 ・ 向上活動の適正な事業推進の支援	・ 共同活動、向上活動ともに適切な事業実施を支援した	35,735,222円
平成26年度	・ 共同活動の適正な事業推進の支援 ・ 向上活動の適正な事業推進の支援	・ 共同活動及び向上活動が多面的機能支払制度に統合 ・ 要望の全地区と協定を締結し、活動を支援した	46,329,084円
平成27年度	・ 向上活動の完了	・ 要望の全地区と協定を締結し、活動を支援した	169,997,912円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

多面的機能支払制度（旧農地・水）は、毎年、協定農用地エリアにおいて適正な事業実施がされています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標に対して実績が100%となりました。農地・農業用水等の資源について、活動組織や体制強化された組織が行う、草刈り、泥上げ、農道の砂利補充などの農地、水路等の資源の日常の管理と、水質保全、生態系保全などの農村環境の向上のための活動を支援しました。

また、施設の老朽化等への幅広い対応や集落のコミュニティ機能向上のため、地域に根ざした活動組織を核とした、地域主体の保全管理等の取組も支援しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

地域主体の保全管理の取組が継続されるよう活動を支援していく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、引き続き事業を展開することとし、多面的機能支払交付金実施要領に基づき、対象組織及び京都府とも連携しながら進めていきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	営農推進係
担当者		松原 樹一郎	直通	25-5035	内線	3152

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	数量調整円滑化推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

経営所得安定対策（旧農業者戸別所得補償制度）を活用し、米穀の需給調整を効果的に進めることで、水田の有効活用と食料自給率の向上を図り、土地利用型作物の需給調整システムを構築していきます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	需要に応じた米の計画的な生産と地域特性を活かした水田の有効活用 生産数量目標：1,623ha	・生産数量目標：1,623ha ・水稻作付実績：1,557ha (96%)	数量調整円滑化推進事業経費 2,767,000円
平成24年度	需要に応じた米の計画的な生産と地域特性を活かした水田の有効活用 生産数量目標：1,628ha	・生産数量目標：1,628ha ・水稻作付実績：1,595ha (98%)	数量調整円滑化推進事業経費 2,554,000円
平成25年度	需要に応じた米の計画的な生産と地域特性を活かした水田の有効活用 生産数量目標：1,615ha	・生産数量目標：1,608ha ・水稻作付実績：1,557ha (97%)	数量調整円滑化推進事業経費 2,530,000円
平成26年度	需要に応じた米の計画的な生産と地域特性を活かした水田の有効活用 生産数量目標：1,588ha	・生産数量目標：1,548ha ・水稻作付実績：1,517ha (98%)	数量調整円滑化推進事業経費 1,929,000円
平成27年度	需要に応じた米の計画的な生産と地域特性を活かした水田の有効活用 生産数量目標：1,538ha	・生産数量目標：1,522ha ・水稻作付実績：1,457ha (96%)	数量調整円滑化推進事業経費 1,932,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

国において、農業者戸別所得補償制度が平成22年度から実施され、平成25年度からは「経営所得安定対策」として、米穀の需給調整が効果的に実施できるシステムが構築されつつあります。米の生産調整並びに転作田を活用した土地利用型作物の栽培により、水田の有効活用と食料自給率の向上につながる取り組みを継続していく必要があります。

年々配分面積が減少しておりますが、毎年配分面積内での作付けを行っており、5年後の達成率を100%とすると、平成27年度までの進捗状況は100%(20%/年×5年)となります。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

国において、需要に応じた生産を推進するため、農業者戸別所得補償制度が平成22年度から実施され、平成25年度からは「経営所得安定対策」として、米穀の需給調整が効果的に実施できるシステムが構築されたため、米の生産調整並びに転作田を活用した土地利用型作物の栽培による水田の有効活用と食料自給率の向上につながる取り組みを行ってきました。

配分面積が減少しておりますが、毎年配分面積内で米の作付けを行っており、5年間で達成率100%(20%/年×5年)となりました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

食料自給率、自給力の向上を図るため、水田活用の直接支払交付金により、飼料用米、麦、大豆などの、戦略作物の本格化を進め、水田のフル活用を図る必要があります。

また、地域の裁量で活用可能な交付金（産地交付金）により、地域の作物振興の設計図となる「水田フル活用ビジョン」に基づき、地域の特色ある魅力的な産品の産地を創造するため、麦・大豆を含む産地づくりに向けた助成を充実する必要があります。

米の全国ベースでの需要量は名年8万トンづつの減少傾向にあります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、引き続き事業を展開していくこととしますが、国において「平成30年産を目途に、行政による生産数量目標の配分に頼らずとも、国が策定する需給見通し等を踏まえつつ、生産者や集荷業者・団体が中心となって円滑に需要に応じた生産が行える状況になるよう、行政・生産者団体・現場が一体となって取り組む」とされていることから、これまでの経過等を踏まえた上で、今後の方向性について、検討する必要があると考えています。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	食農交流係
担当者		西川 美里	直通	25-5036	内線	3153

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	3	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	都市・農村交流事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

「第2次亀岡市元気農業プラン」に基づき、亀岡農業や農産物の特徴を生かした地産地消の活動を推進するため、商工業、観光との相乗効果の増大を目指します。また、亀岡の農業や農産物の特徴を生かした6次産業化（加工、流通と一体化した農業の形態）に取り組みます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・コミュニティレストランを通じた地元産食材のPR（販売ランチ数7,000食）、加工品開発・6次産業化人材育成研修（参加者15人）	・かめおか四季菜（開設日数248日、販売ランチ数6,353食）・6次産業化先進地視察（長野県小布施市）	1,014,580円
平成24年度	・コミュニティレストランを通じた地元産食材のPR（販売ランチ数7,000食）、加工品開発・6次産業化人材育成研修（参加者15人）	・かめおか四季菜（開設254日、ランチ数6,258食）・6次産業化研修（公開講座（62人参加）、勉強会（3回・視察1回平均13.5人参加））	1,132,544円
平成25年度	・コミュニティレストランを通じた地元産食材のPR（販売ランチ数7,250食）、加工品開発・6次産業化人材育成研修（参加者15人）	・かめおか四季菜（開設232日、ランチ数5,454食）・6次産業化事例視察（愛知県）	1,020,000円
平成26年度	・道の駅弁当等による地元産食材のPR（販売数7,500食）、加工品開発・6次産業化人材育成研修（参加者15人）	・道の駅弁当等による地元産食材のPR（販売数7,000食）、加工品開発・6次産業化人材育成研修（参加者24人）、勉強会（1回28人）	677,782円
平成27年度	・道の駅弁当等による地元産食材のPR（販売数7,500食）、加工品開発・6次産業化人材育成研修（参加者15人）	・道の駅弁当等による地元産食材のPR（販売数7,000食）、加工品開発・6次産業化人材育成研修（参加者34人）、勉強会（1回29人）	157,560円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

地元産食材のPR（ランチ、道の駅弁等）は、平成27年度までの累計目標数を36,250食としており、平成27年度までの累計実績が32,065食であることから、進捗度を88%とします。
6次産業化人材育成に係る研修は、平成27年度までの累計目標人数を75人としており、毎年目標人数を上回る参加であることから、進捗度を100%とします。
本事業の進捗率は88%と100%の平均値の94%としました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

「第2次亀岡市元気農業プラン」に基づき、直売所等で農産物の特徴を生かした生産、加工、販売までの地産地消の活動を積極的に推進しました。また、亀岡の農業や農産物の特徴を生かした6次産業化（加工、流通と一体化した農業の形態）に向けての研修を実施しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

直売所が飽和状態になりつつある現在、他との差別化を図り魅力ある直売所を築いていくためには、加工によりそこにしかない商品、わざわざ買いに来てもらうための工夫が必要です。現在は研修会を開く等勉強の機会の提供が主となっていますが、6次産業化をさらに進めるため、具体的な事業や取り組みに対し、補助をするなど積極的にチャレンジしやすい環境の整備が必要となっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

地域資源の利活用により、個々の農業経営の所得向上、地域における雇用創出や農商工連携などによる各産業の発展など地域全体の活性化を図る必要があることから、今後も亀岡で生産された安全・安心な農産物や加工品ををより多くの消費者に届けられるよう、安定した生産・販売体制の確立と消費者に対する広報に積極的に取り組みます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	食農交流係
担当者		河北 純季	直通	25-5036	内線	3154

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	4	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	食農学習促進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

「第2次亀岡市元気農業プラン」に基づき、子どもたちの食への感謝の気持ちや食糧・農業・農村に対する理解や食への関心を深め、地域の食文化の継承や地産地消を推進するため、食に通じる農の視点に立った実体験学習の実施や料理塾の開催、地元産食材の利用促進を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・農業体験学習実施13校・保育所及び学校給食における地元産農産物利用推進年8回・料理塾体験者数180人	農業体験学習13校実施・地元産農産物利用年7回・保育所及び学校給食だより年8回発行・料理塾体験者数177人	2,613,359円
平成24年度	・農業体験学習実施15校・保育所及び学校給食における地元産農産物利用推進年8回・料理塾体験者数200人	農業体験学習13校実施・地元産農産物利用年10回・保育所及び学校給食だより年8回発行・料理塾体験者数134人	2,129,728円
平成25年度	・農業体験学習実施17校・保育所及び学校給食における地元産農産物利用推進年8回・料理塾体験者数220人	農業体験学習15校実施・地元産農産物利用年12回・保育所及び学校給食だより年8回発行・料理塾体験者数141人	2,352,747円
平成26年度	・農業体験学習実施19校・保育所及び学校給食における地元産農産物利用推進年8回・料理塾体験者数240人	農業体験学習17校実施・地元産農産物利用年12回・保育所及び学校給食だより年8回発行・料理塾体験者数154人	2,728,693円
平成27年度	・農業体験学習実施21校・保育所及び学校給食における地元産農産物利用推進年8回・料理塾体験者数240人	農業体験学習18校実施・地元産農産物利用年14回・保育所及び学校給食だより年8回発行・料理塾体験者数145人	2,359,028円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

食と農を通じて地産地消を推進できるよう各事業を実施し、平成27年度は目標数の約82%（体験学習85.7%、農産物利用100%、料理塾60.4%）達成しました。「第2次亀岡市元気農業プラン」に基づき、今後も事業を継続して食と農への理解を深める必要があるため、進捗度は26年度の79.9%との合計で96.3%としました。（ $100\% \div 5 \times 82\% + 79.9\%$ ）

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

食農学習推進事業では、子どもたちが農業の実体験を通じて、食への感謝の気持ちや食糧・農業・農村に対する理解を深め機会となった。
おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾では、地元産食材を活用した郷土料理講習会により、亀岡の食文化の継承を図るとともに、食への深めることができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾の参加者の年齢層が固定化してきている。幅広い年齢層の方々に参加してもらえよう検討する。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、今後も農と食と健康を総合的にとらえた地産地消の推進に取り組み、健全な食習慣の確立を支援する。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	食農交流係
担当者		西川 美里	直通	25-5036	内線	3153

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	4	具体的施策	1	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	都市・農村交流事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

「第2次亀岡市元気農業プラン」に基づき、亀岡農業や農産物の特徴を生かした地産地消の活動を推進するため、商工業、観光との相乗効果の増大を目指します。また、亀岡の農業や農産物の特徴を生かした6次産業化（加工、流通と一体化した農業の形態）に取り組みます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・かめおか農業塾の開催（参加者50口）・都市農村ふれあい農園の開設支援（3件）	・農業塾参加 51口132人 ・ふれあい農園開設 1件	800,000円
平成24年度	・かめおか農業塾の開催（参加者50口）・都市農村ふれあい農園の開設支援（3件）	・農業塾参加 47口128人 ・ふれあい農園開設 1件	800,000円
平成25年度	・かめおか農業塾の開催（参加者50口）・都市農村ふれあい農園の開設支援（3件）	・農業塾参加 44口127人 ・ふれあい農園開設 1件	800,000円
平成26年度	・かめおか農業塾の開催（参加者50口）・都市農村ふれあい農園の開設支援（3件）	・農業塾参加 36口115人 ・ふれあい農園開設 0件	600,000円
平成27年度	・かめおか農業塾の開催（参加者50口）・都市農村ふれあい農園の開設支援（3件）	・農業塾参加 41口130人 ・ふれあい農園開設 1件	830,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

農業塾は88%（219口/250口）、都市農村ふれあい農園は27%（4件/15件）とし、本事業の進捗率は2事業の平均値である58%としました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

農業塾では、参加口数に多少の増減はあるものの参加された方の感想は概ね満足されており、都市部ではなかなか体験できない農業体験の機会が提供できました。また市民農園に関しても、開設農園に関しては高い稼働率で概ね参加者に満足いただいています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

農業塾や市民農園の参加者に、農業体験に参加するだけでなく亀岡野菜のファンとなっただき、地産地消を促進していけるよう、さらなる情報提供やPRが必要です。また、直売所での一人あたりの購入単価はそれほど変動がないことから、来店者数を増やす必要があります。市内在住者のみならず、他市在住者も直売所に足を運んでいただけるよう、安全・安心な亀岡野菜を広報・PRする仕組み作りが必要です。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

農業塾の参加者にはリピーターも多いため、栽培する作物の変更、説明や実施方法の再検討でさらに参加者に満足していただけるよう取り組みます。また、安全・安心な亀岡野菜のおいしさを知った農業塾や市民農園の参加者がさらに市内直売所に足を運んでいただけるよう、地産地消の取り組みに対する広報・PRにも積極的に取り組みます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	営農推進係
担当者		松原 樹一郎	直通	25-5035	内線	3152

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	4	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	特産品等振興事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

小豆やブランド京野菜等の本市特産品の生産基盤の強化と生産拡大に取り組むとともに、農業者の所得向上につながる販売戦略の確立を進めます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	小豆の省力機械化による生産拡大（50ha）と京野菜等の販売戦略の確立	5a以上の小豆生産者へ3,000円/10aの助成（152名、45ha） 京野菜等生産振興推進事業の実施（JA京都京野菜部会）	小豆助成1,365,648円、JA京都京野菜部会への助成500,000円
平成24年度	小豆の省力機械化による生産拡大（55ha）と京野菜等の販売戦略の確立	5a以上の小豆生産者へ3,000円/10aの助成（131名、67.5ha） 京野菜等生産振興推進事業の実施（JA京都京野菜部会）	小豆助成2,024,538円、JA京都京野菜部会への助成500,000円
平成25年度	小豆の省力機械化による生産拡大（60ha）と京野菜等の販売戦略の確立	5a以上の小豆生産者へ3,000円/10aの助成（115名、62.6ha） 京野菜等生産振興推進事業の実施（JA京都京野菜部会）	小豆助成1,878,933円、JA京都京野菜部会への助成500,000円
平成26年度	小豆の省力機械化による生産拡大（65ha）と京野菜等の販売戦略の確立	小豆生産者へ3,000円/10aの助成（183名、59.8ha） 京野菜等生産振興推進事業の実施（JA京都京野菜部会）	小豆助成1,794,723円、JA京都京野菜部会への助成500,000円
平成27年度	小豆の省力機械化による生産維持（60ha）、安定生産・品質向上と京野菜等の販売戦略の確立	小豆生産者へ3,000円/10aの助成（174名、73.1ha） 京野菜等生産振興推進事業の実施（JA京都京野菜部会）	小豆助成2,193,330円、JA京都京野菜部会への助成500,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

京野菜等の販売戦略の確立については、JA京都等関係機関と引き続き連携を図りつつ、農業者の所得向上につながる販売戦略（売れるものづくり）を進めています。

小豆の省力機械化による生産拡大については、5年間100%単年度20%とすると、平成23年度単年実績は45ha/目標50ha×100＝90%（20%×90%＝18%）、平成24年度から25年度にかけては目標面積（20%×2＝40%）を達成しています。平成26年度は単年実績は59.8ha/目標65ha×100＝92%（20%×92%＝18.4%）、平成27年度は目標面積（20%）を達成しています。これを進捗状況に合算すると、5年間全体の進捗状況（18%＋40%＋18.4%＋20%）は96.4%となります。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

京野菜等の販売戦略の確立については、JA京都等関係機関と連携を図り、農業者の所得向上につながる販売戦略（売れるものづくり）を進めてきました。

小豆の省力機械化による生産拡大については、5年間の目標である290haに対し308haとなり、5年間累計では目標面積を達成することができました。

単年度20%として進捗状況を合算した場合は、5年間全体で96.4%となりました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

担い手の高齢化と減少、生産量の減少、価格の低迷や販売額が伸び悩むなど京野菜等の特産品を取り巻く状況は年々厳しくなっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

京野菜等生産振興「目標所得向上プロジェクト」推進事業については、一定の成果が認められましたので、平成27年度で終了することとします。

特産品小豆生産振興事業については、農業者、集落営農者及び各法人に対して、これまでの経過等を踏まえた上で、今後の方向性について検討する必要があると考えています。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	営農推進係
担当者		松原 樹一郎	直通	25-5035	内線	3152

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	4	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	特産品等振興事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

本市特産品の産地拡大や京野菜等の販売額増加につなげるため、新たな事業展開や新品目の育成などの生産振興を図っていくことで本市の特産品の生産拡大を進めます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	ブランド京野菜「聖護院かぶ」の加工事業の展開	「聖護院かぶ」の千枚漬け事業の実施（加工用機械整備、千枚漬け販売開始）	京野菜こだわり産地支援事業補助金 1,823,000円
平成24年度	パイプハウス整備事業、新規特産品振興事業（丹波くり、山ぶき）の実施	パイプハウス整備費1/2助成（3戸、5棟） 丹波くり部会設立	・パイプハウス整備事業2,808,000円・新規特産品振興事業補助金111,000円
平成25年度	パイプハウス整備事業、新規特産品振興事業（丹波くり、山ぶき）の実施	パイプハウス整備費1/2助成（7戸、11棟） 丹波くり部会支援	・パイプハウス整備事業6,134,000円・新規特産品振興事業補助金21,097円
平成26年度	パイプハウス整備事業、新規特産品振興事業（丹波くり、二条大麦）の実施	パイプハウス整備費1/2助成（5戸、5棟） 丹波くり部会支援 ビール大麦栽培推進事業	・パイプハウス整備事業3,738,000円・新規特産品振興事業補助金420,000円（くり27,000円、ビール大麦393,000円）
平成27年度	亀岡を代表する特産品の生産振興と市場ニーズに対応した特色ある農業展開と経営の安定	パイプハウス整備費1/2助成（4戸、10棟） 丹波くり部会支援 ビール大麦栽培推進事業	・パイプハウス整備事業7,127,000円・新規特産品振興事業補助金343,000円【くり76,000円、ビール大麦267,000円】

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

パイプハウス整備に関しては、小松菜を対象作物とし生産者の所得向上のため一年間を通して安定生産ができるよう毎年整備を行っています。また、新規特産品振興として、好評価を得ている「丹波くり」の生産振興に対する補助や京都府内唯一の「ビール大麦」産地として契約栽培を行っています。事業の進捗も良好であり、5年後の達成率を100%として、平成27年度までの進捗状況は100%（20%/年×5年）となります。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

パイプハウス整備に関しては、小松菜を対象作物とし生産者の所得向上のため一年間を通して安定生産ができるよう毎年整備を行ってきました。

また、新規特産品振興の取り組みとして「丹波くり」の生産振興に対する補助や京都府内唯一の「ビール大麦」産地として契約栽培を行っており、5年間全体の進捗状況は100%(20%/年×5年)となりました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

担い手の高齢化と減少、生産量の減少、価格の低迷や販売額が伸び悩むなど京野菜等の特産品を取り巻く状況は年々厳しくなっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度については、引き続き事業を展開することとしますが、平成29年度以降は二条大麦（ビール大麦）生産振興事業、丹波くり生産振興事業については、農業者、集落営農者及び各法人に対して、これまでの経過等を踏まえた上で、今後の方向性について検討する必要があると考えています。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	営農推進係
担当者		谷口 絵梨	直通	25-5035	内線	3152

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	4	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	畜産振興事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

生産から販売までの流通体制を強化し、亀岡牛のブランド化を支援するため、流通体制の中心となる亀岡市食肉センターの施設の充実を図ります。さらに、畜産農家の飼養環境等の充実を図るため、畜産糞尿の処理を行う亀岡市土づくりセンター等の整備、伝染病発生予防対策を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	と畜数 1,000頭	と畜数 954頭	11,035,139円
平成24年度	と畜数 1,020頭	と畜数 722頭	8,452,040円
平成25年度	と畜数 1,040頭	と畜数 1,001頭	22,361,861円
平成26年度	と畜数 1,060頭	と畜数 907頭	7,982,261円
平成27年度	と畜数 1,080頭	と畜数 800頭	11,725,987円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度までの累計目標と畜数を5,200頭としており、平成27年度まで累計実績が4,384頭であるため、進捗度を84%とします。
 $(4,384 \text{頭} \div 5,200 \text{頭} \times 100 \div 84)$

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡市食肉センターと亀岡市土づくりセンターは、ともに、全体的な設備の更新または修繕の時期を迎えており、必要な箇所と機械器具の修繕等を実施しました。特に、食肉センターについては、平成27年度において、亀岡牛ブランドの振興に欠かせない安全安心を推進するため、施設の大規模修繕を完了させることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

両センターともに、依然として修繕が求められる箇所が多数存在します。食肉センターについては、安全安心な亀岡牛を提供していくために、さらに施設の充実が求められます。今後日本においても、現在各国において採用されているHACCP（ハサップ：安全性を確保するための食品衛生管理手法）の義務化が予想されるため、この基準にも対応していく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

両センターにおいて、施設運営に欠かせない修繕等を実施していく必要があります。食肉センターについては、安全安心な亀岡牛を提供し続けていくために、ハード面（一般的衛生管理にのっとりた施設の修繕等）とソフト面（HACCPを意識した衛生管理手法の導入）の両面について、事業を実施していきます。また、稀少性のある亀岡牛を亀岡市外にもPRしていくための事業を順次実施していけるように取り組んでいきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林推進課	係	林務係
担当者		力身 宗	直通	25-5094	内線	3156

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	5	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	鳥獣対策事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

鳥獣の保護と自然との調和を基本に、農林水産物被害及び生活環境被害を防ぐため、亀岡市有害鳥獣対策協議会、亀岡猟友会及び近隣市町と連携を図り、駆除期間を定めて計画的に有害鳥獣を捕獲・駆除します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	計画的な駆除の実施 大型鳥獣捕獲 合計245頭	大型鳥獣捕獲 393頭	8,395,000円
平成24年度	計画的な駆除の実施 大型鳥獣捕獲 合計400頭	大型鳥獣捕獲 421頭	8,815,000円
平成25年度	計画的な駆除の実施 大型鳥獣捕獲 合計500頭	大型鳥獣捕獲 420頭	8,800,000円
平成26年度	計画的な駆除の実施 大型鳥獣捕獲 合計525頭	大型鳥獣捕獲 667頭	12,505,000円
平成27年度	計画的な駆除の実施 大型鳥獣捕獲 合計525頭	大型鳥獣捕獲 729頭	14,580,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

目標年度までの目標駆除頭数2,195頭に対して、平成27年度までの実績は延べ2630頭で達成率100%のため進捗度も100%となっています。次年度においても、鳥獣駆除のため亀岡猟友会等と連携を取り、設定目標の達成に向けて取組めます。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの駆除頭数については、亀岡猟友会等と連携を取り、目標に対して実績が100%となりました。

また、平成26年度以降は捕獲頭数を大幅に増加させることができ、農林水産物被害及び生活環境被害を防除・軽減に貢献することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

駆除頭数の増加をすることができましたが、農林水産物の被害は依然多い状況となっています。

そのため、亀岡市有害鳥獣対策協議会、亀岡猟友会及び近隣市町と連携し、今後一層の連携強化を図り、被害防除・軽減に努めます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

農林水産物被害及び生活環境被害は依然大きいため、近年駆除頭数が増加傾向にありますが、引き続き亀岡市有害鳥獣対策協議会、亀岡猟友会及び近隣市町と連携し、農林水産物及び生活環境被害の防除・軽減をしていきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林推進課	係	林務係
担当者		力身 宗	直通	25-5094	内線	3156

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	5	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	鳥獣対策事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

水稻その他農作物等が、年間を通して有害鳥獣による被害を受け、被害額も甚大なことから、農家組合等が防除対策として実施する金網柵等の設置費用を地域単位で支援し、被害の防除・軽減を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標		実績	事業費（円単位）
平成23年度	防除柵 電気柵	9,000m 5,000m	19地区で設置 防除柵 9,312m 電気柵 6,290m	12,624,586円
平成24年度	防除柵 電気柵	10,000m 5,000m	16地区で設置 防除柵 8,277m 電気柵 3,640m	13,238,806円
平成25年度	防除柵 電気柵	10,000m 5,000m	12地区で設置 防除柵 7,061m 電気柵 2,100m	9,843,060円
平成26年度	防除柵 電気柵	10,000m 5,000m	9地区で設置 防除柵 1,888m 電気柵 2,462m	3,353,479円
平成27年度	防除柵 電気柵	10,000m 5,000m	実施していません	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度末時点で延べ74,000mの防除柵設置を目標としており、平成26年度までの整備により41,030mの防除柵を設置しましたので、進捗度を55%とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

農家組合等への設置費用の支援を行い、金網柵等の設置により、有害鳥獣による水稻その他農作物等の被害の防除・軽減を図ることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

有害鳥獣による水稻その他農作物等の被害は年間を通して甚大な影響を及ぼします。水稻その他農作物等の被害を防除・軽減していくためにはさらに事業を進めていく必要があります。
今後の被害を予想し、農家組合等を地域単位で支援することで被害防除・軽減に努めます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

金網柵等の設置は、有害鳥獣による水稻その他農作物等の被害防除・軽減に必要です。そのため、有害鳥獣による被害防除、軽減のため農家組合等に対し設置費用の支援を行い、事業の実施を進めます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	林務係
担当者		和田 拓也	直通	25-5094	内線	3157

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	2	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	森林整備事業（森林整備の推進）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

森林の健全な成長の促進と良好な生活環境を確保し林業の効率化と作業の軽減を図るため、木材搬出用運搬車等の購入費を補助することにより林地施業の省力化、コスト低減を推進します。
林業機械導入計画（H23～H27）4台

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・木材搬出用運搬車等高性能林業機械導入 1台	・高性能林業機械（グラップル）購入補助 1台	グラップル1台 9,240,000円
平成24年度	・木材搬出用運搬車等高性能林業機械導入計画の検証	なし	0円
平成25年度	・木材搬出用運搬車等高性能林業機械導入 （導入予定フォワーダ1台）	なし	0円
平成26年度	・木材搬出用運搬車等高性能林業機械導入 （導入予定グラップル1台）	なし	0円
平成27年度	・木材搬出用運搬車等高性能林業機械導入 （導入予定プロセッサ1台）	なし	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

作業道の開設及び木材搬出用運搬車等高性能林業機械導入4台の内、1台導入で25%の進捗率とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

森林の健全な成長の促進と良好な生活環境を確保し林業の効率化と作業の軽減を図るため、林業機械導入計画に基づき、作業道の開設及び木材搬出用運搬車等高性能林業機械を4台導入する予定でしたが、平成23年度の1台のみの導入となりました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

作業道の開設及び木材搬出用運搬車等高性能林業機械導入台数が当初目標に対し、達成度が25%となりました。

木材搬出用運搬車等の購入費を補助することにより林地施業の省力化、林業の効率化と作業の軽減を図るため、周知をする必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後林業の効率化と作業の軽減をさらに図る必要があるため、木材搬出用運搬車等の購入費を補助することにより林地施業の省力化、コスト低減を推進します。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	林務係
担当者		和田 拓也	直通	25－5094	内線	3157

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	2	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	森林整備事業（森林路網の適正管理）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

森林管理・経営基盤となる森林路網の整備を推進するとともに、機能に応じた車止め・標識の設置や管理組織の育成など、森林路網の適正管理を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	林道台帳整備12路線	林道台帳4路線整備（計12路線整備完了）	2,247,000円
平成24年度	林道台帳整備15路線	豪雨災害による路面整備2路線	1,491,000円
平成25年度	林道台帳整備15路線	豪雨災害による路面整備1路線	1,207,500円
平成26年度	林道台帳整備15路線	豪雨災害による路面整備1路線	972,000円
平成27年度	林道台帳整備18路線	豪雨災害による路面整備1路線	398,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度の目標を24路線としており、平成22年度までに8路線が整備済みのため、平成23年度～平成27年度は16路線の整備を行います。各年3路線程度進捗させていき、平成23年度末時点で12路線が整備済み、平成24年度は2路線、平成25、26年度は各1路線、豪雨災害のため路面整備を行いました。5年間の目標値を18路線に変更し、8路線/18路線で進捗率は44%とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成24年度以降は、豪雨災害により、著しく損傷を受けた路線があり、年間1～2路線を集中的に補修しました。5年間の目標値である18路線には満たないですが、5年間で9路線の林道整備を行うことが出来ました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

豪雨災害により、集中的に補修を行う必要があった為、事業計画と実績に差異が生じてしまった。
今後は、森林管理・経営基盤となる森林路網の整備状況を把握し適正管理が出来るように進めていく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

次年度以降は、担当課等と調整していき、機能に応じた車止め・標識の設置や管理組織の育成など、森林路網の適正管理を推進します。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	林務係
担当者		和田 拓也	直通	25-5094	内線	3157

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	2	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	森林整備事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

森林ボランティアや緑の少年団、NPOなど森づくりに協力、あるいは主体的に取り組む「森の応援団」の結成と育成を推進し、環境保全活動（モデルフォレスト）を支援します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	森林の公益的機能、普及啓発等	森林普及啓発等の活動補助 （森林ボランティア3団体・緑の少年団・緑の募金）	800,000円
平成24年度	森林の公益的機能、普及啓発等	森林普及啓発等の活動補助 （森林ボランティア2団体・緑の少年団・緑の募金）	750,000円
平成25年度	森林の公益的機能、普及啓発等	森林普及啓発等の活動補助 （森林ボランティア3団体・緑の少年団・緑の募金）	800,000円
平成26年度	森林の公益的機能、普及啓発等	森林普及啓発等の活動補助 （森林ボランティア2団体・緑の少年団・緑の募金）	750,000円
平成27年度	森林の公益的機能、普及啓発等	森林普及啓発等の活動補助 （森林ボランティア3団体・緑の少年団・緑の募金）	800,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

市民等の参加による取り組みは、市民ボランティア3団体や緑の少年団が行う環境保全活動の応援団として地域取組に賛同継続すること及び、モデルフォレスト運動との連携を行うが、団体の自主活動であり人数設定できません。

5年周期ですべて実施することができたため、平成27年度進捗度は、100%となっています。今後の活動も市民ボランティアや企業、NPOとともに継続的に実施していきます。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの目標実施回数については、目標に対して実績が100%となり、市民共有の資源である山林や里山を「協働の森」として保全するために市民ボランティアや企業、NPOの参画・協働を進めることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

市民等の参加による取り組みは、市民ボランティア3団体や緑の少年団が行う環境保全活動の応援団として地域取組に賛同継続すること及び、モデルフォレスト運動との連携を行うが、団体の自主活動のため、今後より市民ボランティアや企業、NPO等の参画・協同を進める必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

前期計画では活動を100%実施することができたため、今後も活動を通じて、市民共有の資源である山林や里山を「協働の森」として、市民ボランティアや企業、NPOの参画・協働による山林の育成・保全への取組を促進します。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	林務係
担当者		和田 拓也	直通	25－5094	内線	3157

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	2	解決策	1	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	森林整備事業（病虫害の防除）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

公共性の高い森林を中心に、森林公園など公共性の高い地域の被害松林の処理と健全松林の維持を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・松くい虫防除 ・赤松の再生	・松くい虫防除事業（衛生伐・伐倒駆除・樹幹注入） ・カシナガ伐倒駆除（くん蒸NSC）	3,708,600円
平成24年度	・松くい虫防除 ・赤松の再生	・松くい虫防除事業（衛生伐・伐倒駆除・樹幹注入・伐倒処理）	3,524,750円
平成25年度	・松くい虫防除 ・赤松の再生	・松くい虫防除事業（衛生伐・樹幹注入・伐倒処理）	3,502,800円
平成26年度	・松くい虫防除 ・赤松の再生	・松くい虫防除事業（衛生伐・樹幹注入・伐倒処理）	3,368,520円
平成27年度	・松くい虫防除 ・赤松の再生	・松くい虫防除事業（衛生伐・樹幹注入・伐倒処理）	3,499,800円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

本市における松くい虫被害は近年減少傾向にありますが、幼齢樹の被害が見られること及び、カシナガ被害が数年前から発生していることから、府と連携を取り監視に努めますが、被害に対する処理であることから目標値設定が出来ません。
進捗としましては、当初の目標のとおり実施できましたので100%とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

当初目標に対し、100%実施することができ、府と連携を取り監視に努め、松くい虫被害を減少させることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

本市における松くい虫被害は近年減少傾向にありますが、幼齢樹の被害が見られること及び、カシナガ被害が数年前から発生していることから、今後も引き続き、府と連携を取り監視に努める必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

松くい虫被害は近年減少傾向にありますが、幼齢樹の被害が見られること及び、カシナガ被害が数年前から発生していることから、さらに府と連携の強化をし、被害の減少に取り組んでいきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	林務係
担当者		和田 拓也	直通	25-5094	内線	3157

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	2	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	森林整備事業（林業組織の活性化）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

森林組合や各財産管理組合等の主体的な活動を支援するとともに、経営基盤や組織の強化を促進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・林業事業就業者の人材育成 ・安定した雇用と森林組合の運営確保	・林業就業者の退職金助成 ・健康保険、厚生年金等補助	4,024,827円
平成24年度	・林業事業就業者の人材育成 ・安定した雇用と森林組合の運営確保	・林業就業者の退職金助成 ・健康保険、厚生年金等補助	4,155,409円
平成25年度	・林業事業就業者の人材育成 ・安定した雇用と森林組合の運営確保	・林業就業者の退職金助成 ・健康保険、厚生年金等補助	3,635,743円
平成26年度	・林業事業就業者の人材育成 ・安定した雇用と森林組合の運営確保	・林業就業者の退職金助成 ・健康保険、厚生年金等補助	3,835,213円
平成27年度	・林業事業就業者の人材育成 ・安定した雇用と森林組合の運営確保	・林業就業者の退職金助成 ・健康保険、厚生年金等補助	4,560,245円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

組合組織の活動であり人数設定できません。
継続する事業であるが、平成27年度に区切りをつけると、5年/5か年で100%となりました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

林業就業者は、減少傾向にあるなかで、退職金の助成や健康保険、厚生年金等を適正に補助することにおいて、林業就業者の労働環境の整備に貢献できました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

森林整備を行っていく為には、林業就業者が減少することは、大きな問題です。林業就業者の減少を食い止める為にも、来年度以降も適正な労働環境の整備に努めます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

当該事業は、林業就業者の適正な労働環境を保持する為に必ず継続していくべき事業であり、森林組合や各財産管理組合等の主体的な活動を支援するとともに、経営基盤や組織の強化を促進していきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	林務係
担当者		和田 拓也	直通	25－5094	内線	3157

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	2	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	森林整備事業（林産物の振興）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

丹波栗、丹波マツタケなど特産物のブランドを活かした林産物の付加価値の向上を図るとともに、地元資源としての間伐材の有効活用について研究・検討します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	丹波くりの品質の向上とブランド化	特産物の品評会の開催	2,000円
平成24年度	・丹波くりの部会設立 ・丹波くりの品質向上と生産量拡大 ・間伐材の有効活用検討	J A 京都丹波くり部会亀岡支部設立 特産物の品評会の開催	111,000円
平成25年度	・丹波くりの品質向上と生産量拡大 ・間伐材の有効活用検討	特産物の品評会の開催	21,097円
平成26年度	・丹波くりの品質向上と生産量拡大 ・間伐材の有効活用検討	特産物の品評会の開催	27,000円
平成27年度	・丹波くりの品質向上と生産量拡大 ・間伐材の有効活用検討	特産物の品評会の開催	80,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

丹波くりは近隣市と部会（協議会）を設立する準備や市にあった間伐材の活用方法の検討を進めています。
目標年度までの実施回数の5回に対し、5回実施したため平成27年度までの進捗状況は100%となっています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

丹波栗、丹波マツタケなど特産物のブランドを活かした林産物の付加価値の向上を図るため、特産物の品評会の開催等を当初目標に対し、100%実施することができ、地元資源としての間伐材の有効活用について研究・検討することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

当初目標を達成することができましたが、丹波栗、丹波マツタケなど特産物のブランドを活かした林産物の付加価値の向上は継続して続ける必要があります。そのため今後も地元資源としての間伐材の有効活用について研究・検討します。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後さらに特産物のブランドを活かし、地元資源としての間伐材の有効活用について研究・検討するため、丹波栗、丹波マツタケなど現在ブランド化できている特産物を活かし、林産物の付加価値の向上を図ります。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林推進課	係	林務係
担当者		力身 宗	直通	25-5094	内線	3156

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	2	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	鳥獣対策事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

近隣市町との境で、有害鳥獣駆除活動を実施した場合には、鳥獣が他市町へ逃げ込んでしまうと追跡ができません。そこで、亀岡猟友会ならびに近隣市町の猟友会等と合同で、京都府、近隣市町と連携し、亀岡市内にとどまらない広域的な有害鳥獣駆除を実施します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	近隣市町との広域捕獲活動の実施	未実施	0円
平成24年度	近隣市町との広域捕獲活動の実施	千代川町川関～南丹市での捕獲活動の実施 捕獲実績 6頭	252,420円
平成25年度	近隣市町との広域捕獲活動の実施	千代川町川関～南丹市での捕獲活動の実施 捕獲実績 11頭	320,000円
平成26年度	近隣市町との広域捕獲活動の実施	千代川町川関～南丹市、本梅町中野～南丹市での捕獲活動の実施 捕獲実績 3頭	288,000円
平成27年度	近隣市町との広域捕獲活動の実施	千代川町川関及び東本梅町大内～南丹市、東別院町東掛～大阪府高槻市域での捕獲活動の実施 捕獲実績 7頭	576,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成24、25年度は千代川町川関周辺において、平成26年度は千代川町川関周辺、本梅町中野から南丹市にかけて、2度実施、平成27年度は千代川町川関及び東本梅町大内から南丹市にかけて、東別院町から大阪府高槻市にかけて計4回の広域捕獲活動を実施しました。平成27年度までの目標実施回数9回に対して、実績は8回のため進捗度を88%とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

近隣市町との境で駆除ができない有害鳥獣に対して、亀岡猟友会ならびに近隣市町の猟友会等と合同で、京都府、近隣市町、大阪府と連携し、広域的な有害鳥獣駆除を実施することができました。
特に、平成27年度には大阪府高槻市と連携することで京都府外での駆除ができたため、より広域な範囲で実施することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

依然近隣市町との境で駆除ができない有害鳥獣が多く、農作物等の被害は甚大であるため、被害防止・軽減のためより一層の連携体制を整え、事業実施をしていく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

近隣市町との境での有害鳥獣の被害は多いため、広域的な捕獲活動は継続して実施していく必要があります。また、広域捕獲活動ができていない地域もあるため、近隣市町の猟友会等と合同で、京都府、近隣市町、大阪府と連携し、広域捕獲活動ができる範囲を増やすことで被害の防止・軽減をします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	商工振興係
担当者		小林真樹	直通	0771-25-5033	内線	3113

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	3	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	商店街等活性化事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市内の卸・小売額が減少傾向にある中、市内消費拡大のため経済団体と既存の商店街等が一体となつて、地域経済の活性化・賑わいづくりの創出に取り組めます。また、地域コミュニティの要となる商店街づくりを促進し、商業活動を含めた元気で個性のある経済活性化を目指します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・商店街の賑わい創出と地域コミュニティの確立を促進し、地域経済の活性化を促す。 ・新たな特産品を開発し、商業振興を促す。	・イベント事業を中心に、商店街の賑わいの創出と地域コミュニティの確立を行った。 ・特産品の開発に向け、スローフード事業を実施。	・3,893,000円 ・1,470,000円 ・1,000,000円
平成24年度	・商店街の賑わい創出と地域コミュニティの確立を促進し、地域経済の活性化を促す。 ・新たな特産品を開発し、商業振興を促す。	・イベント事業を中心に、商店街の賑わいの創出と地域コミュニティの確立を行った。 ・特産品の開発に向け、スローフード事業を実施。	・5,018,000円 ・1,640,000円 ・1,000,000円
平成25年度	・商店街の賑わい創出と地域コミュニティの確立を促進し、地域経済の活性化を促す。 ・新たな特産品を開発し、商業振興を促す。	・イベント事業を中心に、商店街の賑わいの創出と地域コミュニティの確立を行った。 ・特産品の開発に向け、スローフード事業を実施。	・5,168,000円 ・1,935,000円 ・750,000円
平成26年度	・商店街の賑わい創出と地域コミュニティの確立を促進し、地域経済の活性化を促す。 ・新たな特産品を開発し、商業振興を促す。	・イベント事業を中心に、商店街の賑わいの創出と地域コミュニティの確立を行った。 ・活性化推進計画を策定し新たな商業振興の指針とした。	・4,514,000円 ・1,380,000円 ・2,602,800円
平成27年度	・商店街の賑わい創出と地域コミュニティの確立を促進し、地域経済の活性化を促す。 ・新たな特産品を開発し、商業振興を促す。	・イベント事業を中心に、商店街の賑わいの創出と地域コミュニティの確立を行った。 ・活性化推進計画をもとに、「街バル」「100円商店街」等新たな事業を実施した。	・4,457,000円 ・1,380,000円 ・6,000,000円（国交付金）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度に商工業振興対策・地域経済活性化対策として事業を実施しました。平成26年度については、新たな商業活性化推進計画を策定し、平成27年度には計画をもとに、新たな事業を実施しました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

毎年10以上の商店街がイベント事業を実施することで、賑わいの創出と地域コミュニティの確立が図られました。また、商業活性化計画を策定する中で、商店街の組織力が高まり、「街バル」「100円商店街」等の新たな事業が実施され、例年になく集客に成功し、新たな賑わい創出が行われました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

店主の高齢化や廃業等が進み、事業を実施する力が低下している中、より商店街が活性化される事業を検討する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

地域経済の活性化や賑わいづくりの創出と、地域コミュニティづくりに依然効果があると考えられるため、今後も効果的な事業について十分に検討を行い、事業の実施に取り組んでいきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	商工振興係
担当者		小林真樹	直通	0771-25-5033	内線	3113

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	3	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	中小企業経営支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

京都府の融資制度を利用した中小企業者に対して、金融機関への利子や保証協会への保証料について一部を助成し、経営支援を行います。
また、平成27年度からは地域経済活力の強化を図るため、創業者に助成金を交付し、創業件数の向上を目指します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	中小企業に対し利子補給や保証料の一部を助成し、経営支援を図る。	・利子補給 ・保証料の一部助成	・利子補給 (16,527,476円300件) ・保証料の一部助成 (2,480,919円96件)
平成24年度	中小企業に対し利子補給や保証料の一部を助成し、経営支援を図る。	・利子補給 ・保証料の一部助成	・利子補給 (12,893,164円259件) ・保証料の一部助成 (2,402,720円94件)
平成25年度	中小企業に対し利子補給や保証料の一部を助成し、経営支援を図る。	・利子補給 ・保証料の一部助成	・利子補給 (11,814,583円231件) ・保証料の一部助成 (4,239,563円119件)
平成26年度	中小企業に対し利子補給や保証料の一部を助成し、経営支援を図る。	・利子補給 ・保証料の一部助成	・利子補給 (9,259,269円216件) ・保証料の一部助成 (4,137,146円125件)
平成27年度	中小企業に対し利子補給や保証料の一部を助成し、経営支援を図る。 創業者に対し助成金を交付し、地域経済活力の向上を図る。	・利子補給 ・保証料の一部助成 ・創業者への助成	・利子補給 (7,237,885円192件) ・保証料の一部助成 (4,607,683円126件) ・創業支援助成 (1,475,000円7件)

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度、中小企業者に対し経営支援助成事業を実施しました。
また平成27年度については、創業支援助成事業を新たに実施しました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

京都府の融資制度を利用した中小企業者に対して、金融機関への利子や保証協会への保証料について一部を助成することで、中小企業者の経営安定に一定の効果がありました。
また創業者への資金助成により、創業件数の向上に一定の効果がありました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

創業件数をさらに向上させるために、広報活動に力を入れる必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

中小企業者の経営安定を図り、創業件数を増加を増加させるために、事業を継続していきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	商工振興係
担当者		林田和也	直通	0771-25-5033	内線	3113

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	3	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	35.36
②事業名	地域商業活性化事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地域の経済団体である商工会議所や青年部等の事業を支援し、後継者の育成や経営相談の実施による経営改善に努めるとともに商業エリアの創出や空き店舗、支援制度等の情報の提供することにより卸売業・小売業の年間商品販売額1,200億円、従業員数6,000人を目指します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	- 商工会議所への活動補助 - 青年部、婦人会育成事業 - 店舗経営戦略相談事業	- 経営指導、商店街活性化事業補助 - セミナー等開催6回 - 店舗経営相談5店舗	7,000,000円 462,000円 140,385円
平成24年度	- 商工会議所への活動補助 - 青年部、婦人会育成事業 - 店舗経営戦略相談事業	- 経営指導、商店街活性化事業補助 - セミナー等開催6回 - 店舗経営相談5店舗	7,000,000円 462,000円 140,700円
平成25年度	- 商工会議所への活動補助 - 青年部、婦人会育成事業 - 店舗経営戦略相談事業	- 経営指導、商店街活性化事業補助 - セミナー等開催6回 - 店舗経営相談5店舗	7,000,000円 462,000円 150,000円
平成26年度	- 商工会議所への活動補助 - 青年部、婦人会育成事業 - 店舗経営戦略相談事業	- 経営指導、商店街活性化事業補助 - セミナー等開催7回 - 職業体験事業実施 - 店舗経営相談4店舗	7,000,000円 462,000円 118,368円
平成27年度	- 商工会議所への活動補助 - 青年部、婦人会育成事業 - 店舗経営戦略相談事業	- 経営指導、商店街活性化事業補助 - セミナー等開催7回 - 職業体験事業実施 - 店舗経営相談2店舗	11,000,000円 462,000円 59,616円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度に実施する事業を行いました。
なお、卸売業・小売業の年間商品販売額について、平成26年度の時点で、廃業の増加等をカバーできず、841億円となっていることから、進捗率を80%としています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

地域の商工業者に対して、経営指導、活性化事業を行う亀岡商工会議所に助成することで、後継者の育成や経営相談の実施による経営改善に一定の成果がありました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

高齢化による廃業・人口減による卸売業・小売業の年間商品販売額の減少が深刻であり、効果的な支援方法について検討を行う必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

引き続き亀岡商工会議所に事業支援を実施し、目標を卸売業・小売業の年間商品販売額1,000億円・従業員数6,000人と現状に沿った目標に変更し、地域経済活性化事業に取り組んでいきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	商工振興係
担当者		三宅敦史	直通	0771-25-5033	内線	3113

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	3	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	調和の取れた商業拠点の創出事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

商業拠点の創出を図るため、『南丹地域商業ガイドライン』に基づき、「商業まちづくり」の基本方向や大型店等の誘導や抑制エリアを指定し、地域の特性を活かした機能的な都市活動ができる「まちなか再生」を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	『南丹地域商業ガイドライン』に基づいた商業施設の誘導や抑制	事業としては特になし	—
平成24年度	『南丹地域商業ガイドライン』に基づいた商業施設の誘導や抑制	事業としては特になし	—
平成25年度	「大井町南部土地区画整理事業」における商業施設の適切な誘導	・府市町村企業誘致推進連絡会議による情報発信 ・企業立地に関する情報発信	—
平成26年度	「大井町南部土地区画整理事業」における商業施設の適切な誘導	・府市町村企業誘致推進連絡会議による情報発信 ・企業立地に関する情報発信	—
平成27年度	「大井町南部土地区画整理事業」における商業施設の適切な誘導	・府市町村企業誘致推進連絡会議による情報発信 ・企業立地に関する情報発信	—

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度に対応する事業を実施しました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

当該案件なし

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

大井町南部土地区画整理事業の遅れが企業誘致に影響し進展がなかった。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

引き続き企業誘致に繋がるよう情報発信していきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	ものづくり支援係
担当者		向出和幸	直通	0771-25-5033	内線	3112

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	4	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	企業立地促進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

企業の立地を促進するため、京都府・商工会議所との連携を強化するとともに、ものづくり産業振興ビジョンに基づき、戦略的な誘致活動の展開、情報発信を強化します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・京都府と連携した情報発信	府市町村企業誘致推進連絡会議による情報発信	0円
平成24年度	・「ものづくり産業振興ビジョン」の策定 ・情報発信の強化	「ものづくり産業振興ビジョン」の策定、事業用地パンフレットの作成配布、府企業誘致説明会（東京開催）で大手銀行ゼネコンへの情報提供、立地検討企業への情報提供（15件）	715,200円
平成25年度	・元気企業プロジェクトの推進による情報発信の充実	・府市町村企業誘致推進連絡会議による情報発信 ・ホームページによる企業立地に関する情報発信	2,000,000円
平成26年度	・情報発信の充実	・府市町村企業誘致推進連絡会議による情報発信 ・ホームページによる企業立地に関する情報発信	2,000,000円
平成27年度	・情報発信の充実	・府市町村企業誘致推進連絡会議による情報発信 ・ホームページによる企業立地に関する情報発信	2,500,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度に実施する事業を行いました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

企業立地を促進するため、京都府・商工会議所との連携を強化するとともに、ものづくり産業振興ビジョンに基づき、戦略的な誘致活動を展開した結果、平成23年度から平成27年度までに7社の誘致に成功し、また、4社が次年度以降に立地することが決定するなどの成果が見られました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

企業誘致に関しては、各自治体間での競争が熾烈となっており、効果的な誘致を行うためには、関係機関との密な連携が更に必要とされています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

効果的な企業の立地を促進するため、京都府・商工会議所やその他関係機関との連携を更に強化し、戦略的な誘致活動の展開、情報発信を継続して行います。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	ものづくり支援係
担当者		上園 千佳	直通	25-5033	内線	3112

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	4	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	37.38
②事業名	立地奨励金等助成事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

企業立地に対する優遇措置の要件緩和や制度の充実など新たな施策の検討を進め、多様な企業の立地を促す条件の充実を図るとともに、企業立地を促進するため、企業立地奨励金、雇用促進奨励金、商工業公共下水道助成金を交付しています。また、ものづくり産業雇用支援助成金制度により、市民の雇用を図り企業活動を支援するとともに、中小企業への支援策として、平成27年度より、ものづくり産業経営安定化支援助成金制度を創設しました。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・企業立地奨励金の指定工場等の認定要件の緩和 ・指定企業1箇所（累計28箇所）	・企業立地奨励金8件・雇用促進奨励金4件・下水道助成2件・ふるさと雇用助成金50件・指定工場等の要件を緩和・指定企業1箇所（累計28箇所）	・33,261,100円 ・2,300,000円 ・9,138,000円 ・14,960,000円
平成24年度	・企業立地奨励金 ・雇用促進奨励金 ・ふるさと雇用緊急支援助成金 ・指定企業1箇所（累計29箇所）	・企業立地奨励金7件・雇用促進奨励金3件・下水道助成2件・ふるさと雇用助成金25件・指定企業2箇所（累計30箇所）	・38,533,100円 ・2,400,000円 ・8,982,000円 ・7,000,000円
平成25年度	・企業立地奨励金 ・雇用促進奨励金 ・下水道助成金 ・雇用支援助成金	・企業立地奨励金6件・雇用促進奨励金3件・下水道助成2件・雇用助成金27件・指定企業2箇所（累計32箇所）	・36,189,100円 ・1,900,000円 ・9,102,000円 ・7,110,000円
平成26年度	・企業立地奨励金 ・雇用促進奨励金 ・下水道助成金 ・ものづくり産業雇用支援助成金	・企業立地奨励金6件・雇用促進奨励金1件・下水道助成2件・雇用助成金22件	・35,131,300円 ・100,000円 ・9,026,000円 ・6,440,000円
平成27年度	・企業立地奨励金 ・雇用促進奨励金 ・下水道助成金 ・ものづくり産業雇用支援助成金 ・ものづくり産業経営安定化支援助成金	・企業立地奨励金5件・雇用促進奨励金1件・下水道助成1件・雇用助成金34件	・33,193,300円 ・900,000円 ・8,000,000円 ・13,060,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度に実施する事業を行いました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

企業立地奨励金、雇用促進奨励金、商工業公共下水道助成金を交付を行い、今日まで効果的な企業支援が実施できました。また、ものづくり産業雇用支援助成金制度による企業活動の支援の結果、市民の雇用も図ることができました。なお、中小企業への支援策として、平成27年度より、ものづくり産業経営安定化支援助成金制度を創設し、企業訪問等による当該制度の周知を図りました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

当該助成金制度について、その周知を更に図ることが必要とされていることから、その利活用を効果的に推し進めるための観点からも、更に積極的な周知等に対する取組みが必要とされています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

企業訪問や関係機関との連携に努め、制度周知のための取組み等を図る中で、当該助成制度の更なる活用を推し進め、積極的な企業支援を促進していきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	ものづくり支援係
担当者		中野明之	直通	25-5033	内線	3112

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	4	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	企業立地促進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

新たな企業立地や市内企業の用地ニーズに対応するため、市内の既存工場用地・適地に関する情報の受発信を行うとともに、土地利用転換のための開発手法等により、新たな産業用地の確保に努めています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・関係機関と連携した情報受発信 ・土地利用転換の誘導	・京都府等に用地情報を発信 ・都市計画マスタープランの改定において、土地利用転換の誘導を検討	0円
平成24年度	・関係機関と連携した情報受発信 ・都市計画マスタープラン改定による土地利用転換の誘導	・関係機関と連携し、用地情報の発信 ・土地利用転換についての協議	0円
平成25年度	・関係機関と連携した情報受発信 ・土地利用転換の誘導	・関係機関と連携し、用地情報の発信 ・ものづくり産業等集積促進地域に「大井町南部地区」を追加 ・企業立地促進法に基づく基本計画について協議	0円
平成26年度	・民間施工の土地区画整備事業（大井町南部地域、篠町篠地区）による工業系用途の用地の確保 ・企業誘致活動の推進	・関係機関と連携し、用地情報の発信 ・企業誘致活動	0円
平成27年度	・民間施工の土地区画整備事業（大井町南部地域、篠町篠地区）による工業系用途の用地の確保 ・企業誘致活動の推進	・関係機関と連携し、用地情報の発信 ・企業誘致活動	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度に実施する事業を行いました。なお、平成23年度から平成27年度までに7社の誘致に成功し、また、4社が次年度以降に立地することが決定するなどの成果が見られた一方、篠町篠地区の区画整理事業が当初計画より遅れが生じていることから、進捗率を90%としています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

大井町南部の工業用地については、関係機関との連携により企業誘致に努めた結果、業務ゾーン約69,000㎡の約9割が埋まり大きな成果が見られました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

篠町篠地区において区画整理事業が計画されていますが、当初計画よりも大幅に遅れており、状況を見極めながら用地の確保並びに今後の企業誘致の取り組みを進めていく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

効果的な企業の立地を促進するため、京都府・商工会議所やその他関係機関との連携を更に強化し、今後も新たな企業立地や市内企業の用地ニーズに対応していきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	商工振興係
担当者		三宅敦史	直通	0771-25-5033	内線	3113

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	4	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	企業立地推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

ものづくり産業振興会議の設置による推進体制の構築を図ります。また、農商工観連携による「食産業プロジェクト」の推進を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	—	—	—
平成24年度	・「ものづくり産業振興ビジョン」の策定	・ものづくり産業振興ビジョンの策定	715,200円
平成25年度	・事業関係者との連携、推進体制づくり及び支援	・ものづくり産業振興会議、ものづくり産業振興プロジェクト会議 開催	500,000円
平成26年度	・食産業振興プロジェクト展開（体制づくり、事業周知、支援、研究）	・食産業振興プロジェクト事業を展開し、新商品の開発（試作品）、試食会を実施。	3,452,272円
平成27年度	・食産業振興プロジェクト展開（事業周知、支援、研究、販売促進、販路開拓）	・新商品の販売及び新たな販路開拓のためのバイヤー向け試食会開催。 ・新商品の研究、調査	2,500,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

「食産業振興プロジェクト」事業を実施。新たな商品開発を行い、商品化を目指して取り組みを進めています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

農業生産者と製造業者のマッチングからスタートし、新商品の開発と販路開拓を行い商品化にたどり着けました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

商品開発・販売はできたものの、農業生産量が少なく、生産販売継続が課題です。また、農産物の収穫時期の関係で、事業実施に時間がかかることが課題です。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

地域産業の強化を目指し、新たな商品開発を進めていきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調査

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	ものづくり支援係
担当者		向出和幸	直通	0771-25-5033	内線	3112

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	4	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	新産業立地促進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

新産業創造のため、国関係機関や大学等で実施されている起業家等への支援制度と連携し、新たな起業家やニュービジネスを育む環境づくりを支援するため、企業立地奨励金等の交付を行います。
また、ものづくり産業振興ビジョンに基づく「元気企業プロジェクト」研究会の設置運営による新産業事業展開を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・新産業分野での創業・事業展開の支援	新産業分野での企業立地奨励金等の交付申請はなかった。	0円
平成24年度	・新産業分野での創業・事業展開の支援	新産業分野での企業立地奨励金等の交付申請はなかった。	0円
平成25年度	・新産業分野での創業・事業展開の支援 ・イノベーション研究会の設置運営	新産業分野での企業立地奨励金等の交付申請はなかった。 イノベーション研究会の設置運営を行った。	元気企業支援助成事業 6,231,000円 産業イノベーション研究会事業 500,000円
平成26年度	・新産業分野での創業・事業展開の支援 ・イノベーション研究会の設置運営	新産業分野での企業立地奨励金等の交付申請はなかった。 元気企業支援助成を行った。 イノベーション研究会の運営を行った。	元気企業支援助成金 6,231,000円、イノベーション研究会事業 500,000円
平成27年度	・新産業分野での創業・事業展開の支援 ・イノベーション研究会の設置運営	新産業分野での企業立地奨励金等の交付申請はなかった。 元気企業支援助成を行った。 イノベーション研究会の運営を行った。	元気企業支援助成金 6,791,000円、イノベーション研究会事業 370,760円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度に実施する事業を行いました。なお、新産業分野での企業立地奨励金等の交付実績がないことから、進捗率を90%としています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

新製品開発や新たな販路開拓等に取り組む企業を支援するため、亀岡商工会議所と連携し元気企業支援助成金及びイノベーション研究会事業助成金を交付し、新たな事業展開や販路開拓に一定の成果がありました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

新産業分野での企業立地奨励金等の交付実績が見られなかったため、今後、新たな起業家やニュービジネスを育む効果的な環境づくりや支援方法について検討を行う必要性があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

新産業や新たな起業の創造は、地方創生を成功させるための大きな推進力となり得ることから、今後、効果的な環境づくりや支援方法について十分に検討を行い、効果的な事業の実施に取り組んでいきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	ものづくり支援係
担当者		向出和幸	直通	0771-25-5033	内線	3112

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	4	解決策	4	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	高付加価値産業立地促進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

企業立地奨励金等の支援により、既存企業をはじめ、それぞれの企業がそれぞれの強みを持ち、自社優位性の高い技術を有した高付加価値産業の集積を図っています。また、ものづくり産業振興ビジョンに基づく「元気企業プロジェクト」研究会の設置運営による事業展開を図っています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・付加価値産業分野での立地・事業展開の支援	高付加価値産業分野での企業立地奨励金等の申請はなかった。	0円
平成24年度	・付加価値産業分野での立地・事業展開の支援	高付加価値産業分野での企業立地奨励金等の申請はなかった。	0円
平成25年度	・付加価値産業分野での立地・事業展開の支援	・企業立地奨励金（高付加価値産業分野）0件 ・元気企業支援助成金（製品・新技術開発事業）9社	元気企業支援助成金 4,809,000円
平成26年度	・付加価値産業分野での立地・事業展開の支援	・企業立地奨励金（高付加価値産業分野）0件 ・元気企業支援助成金（製品・新技術開発事業）7社	元気企業支援助成金 6,321,000円
平成27年度	・付加価値産業分野での立地・事業展開の支援	・企業立地奨励金（高付加価値産業分野）0件 ・元気企業支援助成金（製品・新技術開発事業）4社	元気企業支援助成金 6,791,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度に実施する事業を行いました。なお、高付加価値産業分野での企業立地奨励金等の交付実績がないことから、進捗率を90%としています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

製品及び新技術開発に取り組む企業を支援するため、亀岡商工会議所と連携し元気企業支援助成金を交付し、新技術の開発による企業の付加価値向上に一定の成果がありました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

高付加価値産業分野での企業立地奨励金等の交付実績が見られなかったため、自社優位性の高い技術を有した高付加価値産業の集積を図るための効果的な支援方法等について検討を行う必要性があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

自社優位性の高い企業の創出や高付加価値産業分野は高い成長を見込めることから、持続的な地域社会の創生を図るために今後も効果的な支援方法等について十分に検討を行い、事業の実施に取り組んでいきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	観光戦略課	係	観光企画係
担当者		乾芽衣	直通	0771-25-5034	内線	3133

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	5	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	誘客拠点整備事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

観光客を誘致するために、観光拠点施設の整備を行います。 【目標】 湯の花温泉の観光入込客数：平成22年度の5%増										
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	- 湯の花温泉供給施設維持管理業務、整備事業、環境整備委託 - 入込客数目標194,132人	- 湯の花温泉鉱泉管理、施設整備事業、観光地環境施設整備事業 - 入込客実績198,834人	（鉱泉管理経費、観光地環境施設整備経費） 16,909,176円
平成24年度	- 湯の花温泉供給施設維持管理業務、整備事業、環境整備委託 - 入込客数目標196,054人	- 湯の花温泉鉱泉管理、施設整備事業、観光地環境施設整備事業 - 入込客実績233,649人	（鉱泉管理経費、観光地環境施設整備経費） 13,755,096円
平成25年度	- 湯の花温泉供給施設維持管理業務、整備事業、環境整備委託 - 入込客数目標197,976人	- 湯の花温泉鉱泉管理、施設整備事業、観光地環境施設整備事業 - 入込客実績192,098人	（鉱泉管理経費、観光地環境施設整備経費） 12,129,000円
平成26年度	- 湯の花温泉供給施設維持管理業務、整備事業、環境整備委託 - 入込客数目標199,898人	- 湯の花温泉鉱泉管理、施設整備事業、観光地環境施設整備事業 - 入込客実績207,805人	（鉱泉管理経費、観光地環境施設整備経費） 14,069,000円
平成27年度	- 湯の花温泉供給施設維持管理業務、整備事業、環境整備委託 - 入込客数目標201,820人	- 湯の花温泉鉱泉管理、施設整備事業、観光地環境施設整備事業 - 入込客実績252,859人	（鉱泉管理経費、観光地環境施設整備経費） 14,069,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

湯の花温泉の平成22年度入込客数実績192,210人に対して、平成23年度から平成27年度まで毎年1%増の目標数値として、5ヵ年の入込客数累計目標数値を989,880人とします。平成23年度・平成24年度・平成25年度・平成26年度・平成27年度の合計実績は、1,085,245人であったため進捗度109.6%となります。
--

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの入込客実績については、目標に対して実績が109.6%となり、湯の花地域の施設及び環境整備等により、多くの観光客に湯の花温泉を訪れていただくことが出来ました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

入込客については、当初の目標を達成することが出来ましたが、湯の花温泉に対する鉱泉の安定的な供給が課題となっています。老朽化した設備の早期修繕をはじめ、唯一の源泉である第3源泉の汲み上げポンプを定期的に整備するなど、故障等による供給停止を回避する必要があります。

- 湯の花温泉鉱泉施設の日常点検
- 老朽化した設備の修繕
- 第3源泉の整備

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き整備事業を行うこととし、本市三大観光である湯の花温泉に安定的に温泉水を供給するとともに、当該地域を訪れる観光客に快適に過ごしていただけるよう、さらに重点的に施設整備を進めていくこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	観光戦略課	係	観光企画係
担当者		玉井しのぶ	直通	0771-25-5034	内線	3132

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	5	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	誘客拠点整備事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

亀岡市内の観光資源や店舗を面的に結ぶ着地型・滞在型の観光コースの開発を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度			
平成24年度	- 観光資源のネットワーク化の構築 - 観光コースの開発	- 亀岡観光資源開発プロモーションの実施 - 農業体験ツアー（外国人観光客向け）の実施 6回（H25/3月から実施）	—
平成25年度	- 観光資源のネットワーク化の構築 - 観光コースの開発	- 亀岡観光資源開発プロモーションの実施（首都圏の旅行会社等） - 外国人農業体験ツアー（インバウンド）の実施	—
平成26年度	- 観光資源のネットワーク化の構築 - 観光コースの開発	- 亀岡観光資源開発プロモーション（首都圏、名古屋圏の旅行会社等）の実施 - 京都丹波観光プロモーション（台湾台北市）、タイ観光プロモーション等の実施（インバウンド商談会）、外国人農業体験ツアー実施	—
平成27年度	- 観光資源のネットワーク化の構築 - 観光コースの開発	- 亀岡観光資源開発プロモーション（首都圏、名古屋圏の旅行会社等）の実施 - 京都丹波観光商談会（台湾台北・高雄）、京都丹波観光インバウンド推進事業台湾営業訪問（台湾台北・台中）の実施	—

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

（公社）京都府観光連盟が主催するプロモーション（9月9日～11日）において、着地型・滞在型の亀岡観光コースを旅行会社等に対し、個別商談会を実施しました。また、京都丹波観光協議会主催の首都圏旅行社訪問（11月19日、20日）及び中京圏観光プロモーション（12月1日）において、個別に旅行会社を訪問し、京都縦貫を介したルートをPRしました。インバウンド対応事業として、京都府が実施した台湾台北市・高雄市にて観光商談会、台湾台北市・台中市にて旅行会社訪問を実施しました。そのほか、SNS上で影響力のある外国人パワーブロガー等をファムトリップに誘致し、WEBを通じて積極的に情報発信しました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

（公社）京都府観光連盟が主催するプロモーションにおいて、着地型・滞在型の亀岡観光コースを旅行会社等に対し、個別商談会を実施しました。また、京都丹波観光協議会主催の首都圏旅行社訪問及び中京圏観光プロモーション等において、個別に旅行会社を訪問し、京都縦貫自動車道を介した観光ルート等をPRしました。

平成２７年度には、（一社）亀岡市観光協会が「地域限定旅行業」を取得し、本市観光資源を有効に活用した旅行商品を開発するための準備が整いました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

旅行会社等に対する個別商談会において、拠点となる駅から観光地までの交通の便、いわゆる「二次交通」の便が少ない点について指摘いただくこともあるため、旅行者の交通の利便性を高める工夫と、二次交通の問題を解決した観光コースの開発が必要となっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度には（一社）亀岡市観光協会において、市内ＪＲ４駅に隣接する駐輪場で相互乗捨てができる「観光レンタサイクル事業」を始められる予定であり、これら等を活用して、点在する観光資源のネットワーク化を図るとともに、観光客の観光滞在時間及び観光消費額の増に向けた取り組みを推進してまいります。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	観光戦略課	係	観光企画係
担当者		橋本広明	直通	0771-25-5034	内線	3133

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	5	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	観光文化資源活用事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

伝統行祭事・文化財や市ゆかりの人物の活用を図り、城下町地区における観光振興と地域の活性化を図ります。また、NHK大河ドラマ実現に向けた誘致活動を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・謎解き宝探しゲーム（まち歩きイベント）の実施、亀岡祭、亀山城跡 ・大河ドラマ誘致推進協議会の活動 ・入込客数目標数値86,500人	・城下町地区内宝探しゲーム事業実施参加者5,952名 ・城下町観光誘客事業実施 ・大河ドラマ誘致推進協議会を設立し、大河ドラマ誘致の署名・要望活動を実施 ・入込客数計 85,789人	（宝探しゲーム事業費、城下町観光誘客事業経費、大河ドラマ誘致活動事業経費等） 5,220,261円
平成24年度	・謎解き宝探しゲームの実施 ・城下町散策・にぎわい創出、伝統芸能保存育成事業 ・大河ドラマ誘致推進協議会の活動 ・入込客数目標数値87,300人	・城下町地区内宝探しゲーム事業実施参加者4,289名 ・城下町観光誘客事業実施 ・大河ドラマ誘致の署名・要望活動を実施（20,120名） ・入込客数計 63,030人	（宝探しゲーム事業費、城下町観光誘客事業経費、大河ドラマ誘致活動事業経費等） 7,716,769円
平成25年度	・城下町散策・にぎわい創出、伝統芸能保存育成事業 ・明智かめまる観光PR ・大河ドラマ誘致推進協議会の活動 ・入込客数目標数値88,200人	・城下町地区内宝探しゲーム事業実施参加者3,905名 ・城下町観光誘客事業実施 ・大河ドラマ誘致の署名・要望活動を実施 ・入込客数計 13,893人	（宝探しゲーム事業費、城下町観光誘客事業経費、大河ドラマ誘致活動事業経費等） 8,022,000円
平成26年度	・城下町散策・にぎわい創出、伝統芸能保存育成事業 ・明智かめまる観光PR ・大河ドラマ誘致推進協議会の活動 ・入込客数目標数値89,000人	・城下町地区内宝探しゲーム事業実施参加者4,615名 ・城下町観光誘客事業実施 ・大河ドラマ誘致の署名・要望活動を実施 ・入込客数計 92,222人	（宝探しゲーム事業費、城下町観光誘客事業経費、大河ドラマ誘致活動事業経費等） 8,707,090円
平成27年度	・城下町散策・にぎわい創出、伝統芸能保存育成事業 ・明智かめまる観光PR ・大河ドラマ誘致推進協議会の活動 ・入込客数目標数値90,800人	・城下町地区内宝探しゲーム事業実施参加者4,667名 ・城下町観光誘客事業実施 ・大河ドラマ誘致の署名・要望活動を実施 ・入込客数計 99,886人	（宝探しゲーム事業費、城下町観光誘客事業経費、大河ドラマ誘致活動事業経費等） 7,367,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

城下町地区内の平成23年度入込客数当初目標数値86,500人に対して、平成24年度～平成26年度の間は、平成23年度に対して毎年1%増の目標数値として、平成27年度には、平成23年度に対して5%増の目標数値とします。この算出方法で、5ヵ年の入込客数目標数値を441,800人とします。平成23年度～平成27年度実績数値354,820人であったため、進捗度80.3%となります。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成23年4月、明智光秀、細川ガラシャ・幽斎・忠興を中心としたNHK大河ドラマの実現に向け、亀岡市や長岡京市、福知山市などゆかりの京都府内7市町等により「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」を設立しました。その後、毎年活動の輪が広がり、現在は、京都府・兵庫県・福井県内の9市2町で活動を行っています。
今のところ大河ドラマの誘致は実現していませんが、構成市町との連携による積極的な誘致活動を実施することで、広域な観光振興と地域経済の活性化につながっています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

活動から6年目となりますが、今後も、各地域における様々なイベント等で地道な啓発活動を実施し、物産展やご当地キャラショーなども積極的に開催するなど、地域振興、観光振興の視点も踏まえ、協議会構成団体の結束と新たな支援者獲得のための活動を行ってまいります。また、更なるPRのため他の関連するイベントにも参加する機会を探していきます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

明智光秀、細川ガラシャ・幽斎・忠興ゆかりの市町との連携を更に強め、NHK大河ドラマの制作に携わってこられた方々のアドバイスをいただきながら、地道な誘致活動を継続して進めていくことが大変重要であると認識しています。

今後も、各市町のイベント等において、さらに署名活動を拡充するとともに、昨年、全線開通しました京都縦貫自動車道を「ガラシャ・光秀街道」と称し、各市町において「ガラシャ・光秀街道」と書いた横断幕を掲げるなど、誘致に向けた機運の醸成を図るなかで、平成30年（2018）以降の誘致実現を目指してまいります。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	観光戦略課	係	観光企画係
担当者		乾芽衣	直通	0771-25-5034	内線	3133

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	5	解決策	1	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	広域連携事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

京都丹波観光協議会の活動を通じて「京都・丹波」の観光PRを図る。また、大丹波連携推進協議会とも連携し、観光PRを図り、観光客誘致につなげます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・京都中部圏観光協議会の活動 ・大丹波連携推進協議会の活動	・各協議会で観光キャンペーンを実施	（京都中部圏観光協議会経費） 200,000円
平成24年度	・京都中部圏観光協議会、 大丹波連携推進協議会	・各協議会で観光キャンペーンを実施	（京都中部圏観光協議会経費） 200,000円
平成25年度	・京都中部圏観光協議会、 大丹波連携推進協議会	・各協議会で観光キャンペーンを実施	（京都丹波観光協議会経費） 200,000円
平成26年度	・京都中部圏観光協議会、 大丹波連携推進協議会	・各協議会で観光キャンペーンを実施	（京都丹波観光協議会経費） 200,000円
平成27年度	・京都中部圏観光協議会、 大丹波連携推進協議会	・各協議会で観光キャンペーンを実施	（京都丹波観光協議会経費） 200,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成23年度～27年度については、各年度当初予算に基づき事業を実施したところです。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの京都中部圏観光協議会（京都丹波観光協議会）及び大丹波連携推進協議会の活動については、各協議会で観光キャンペーンやパンフレットの発行、SNSを通じた情報発信を行い、広域的な連携を活かして本市の観光PRを図ることが出来ました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

各協議会での観光キャンペーンでは、順調にPR活動を進めることが出来ましたが、より幅広い年代及び、増加するアジア圏からの旅行者への認知度の向上が課題となっています。協議会として海外の旅行会社にツアー提案するほか、SNSや動画配信サイトを活用した情報発信が求められています。

- 外国人旅行者への観光PR
- 多様な情報発信ツールの活用

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き広域連携事業を実施することとし、「京都・丹波」や「大丹波」として観光PRを行うとともに、より多くの人に当該地域を知っていただくため、SNS等を活用した情報発信を進めることとします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	観光戦略課	係	観光企画係
担当者		橋本広明	直通	0771-25-5034	内線	3133

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	5	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	39, 40
②事業名	情報発信事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

多様なメディアの活用により、観光キャンペーン及び観光PRを実施し、観光客の誘致を図ります。

【目標】

- ・観光入込客数：平成21年度の5%増 → 2,303,700人
- ・観光消費額は平成21年度の10%増 → 62.59億円

【平成27年度】

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・観光PRイベント、観光映像プロジェクトの実施、るるぶ亀岡の発行 ・入込客数目標2,215,940人 ・観光消費額58.04億円	・観光キャンペーン、観光PR交通広告、観光映像の実施、るるぶ亀岡製作30万部 ・入込客実績2,146,945人 ・観光消費額57.96億円	(観光推進経費) 12,618,171円
平成24年度	・観光PRイベント、観光映像プロジェクト、観光PR交通広告の実施 ・入込客数目標2,237,880人 ・観光消費額59.18億円	・観光キャンペーン、観光PR交通広告、観光映像の実施、るるぶ亀岡配布等 ・入込客実績2,221,274人 ・観光消費額56.97億円	(観光推進経費) 9,927,456円
平成25年度	・観光PRイベント、観光PR交通広告の実施 ・入込客数目標2,259,820人 ・観光消費額60.31億円	・観光キャンペーン、観光PR交通広告、観光映像の実施、第2弾るるぶ亀岡製作30万部 ・入込客実績2,268,619人 ・観光消費額55.45億円	(観光推進経費) 20,723,000円
平成26年度	・観光PRイベント、観光PR交通広告の実施 ・入込客数目標2,281,760人 ・観光消費額61.45億円	・観光キャンペーン、観光PR交通広告、観光映像の実施、第2弾るるぶ亀岡配布等 ・入込客実績2,408,467人 ・観光消費額63.00億円	(観光推進経費) 10,879,536円
平成27年度	・観光PRイベント、観光PR交通広告の実施 ・入込客数目標2,303,700人 ・観光消費額62.59億円	・観光キャンペーン、観光PR交通広告、観光映像の実施、第3弾るるぶ亀岡製作30万部 ・入込客実績2,679,348人 ・観光消費額73.04億円	(観光推進経費) 21,836,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

平成21年度入込客数実績2,194,000人に対し、平成23年度から平成27年度まで毎年1%増を目標数値とし、5ヵ年の入込客数累計目標数値を11,299,100人とします。平成23年度～平成27年度実績は11,724,653人であったため、進捗度103.8%となります。また、平成21年度消費額実績56.9億円に対して、平成23年度から平成27年度まで毎年2%増を目標数値とし、5ヵ年の消費額累計目標数値を301.57億円とします。平成23年度～平成27年度実績は、306.42億円であったため進捗度101.6%となります。入込客数進捗度と消費額進捗度を平均して、全体進捗度102.7%となります。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

三大観光とともに、本市の特色ある歴史・伝統文化を生かし「明智光秀のまち亀岡」「広域観光圏の強化」「京都縦貫道の開通」を主なキーワードとして、観光協会や商工会議所、市民団体や近隣市町等と連携・協力（協働）により様々な観光PRを実施してきました。

京都縦貫自動車道全線開通により、宇治市・長岡京市等と連携した強化キャンペーンや中部地区・中国地方からの誘客増加を狙った名神高速道路草津PAやJR岡山駅等におけるキャンペーンを実施しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

「るるぶ亀岡」「多言語版るるぶ亀岡」「るるぶ亀岡アプリ」「明智かめまるFB」など様々な媒体を使い、観光協会や商工会議所等と連携し誘客増加を狙った観光PRを実施しています。これに加えて、各観光地等による積極的な営業活動等により、本市の観光入込客数は年々増加しているところです。

今後は、これら観光PR媒体の効果を図ることができる仕組みを検討し、さらに効果的な亀岡PRにつなげていきたいと考えています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も、三大観光をはじめ、「明智光秀のまち亀岡」「広域観光圏の強化」「京都縦貫道の開通」を主なキーワードとして、観光協会や商工会議所、市民団体や近隣市町等と連携・協力（協働）により様々な観光PRを実施するとともに、「森の京都」「京都丹波」「NHK大河ドラマ」「大丹波」など、広域連携をさらに推進してまいります。

また、これらに合わせて「るるぶ亀岡アプリ」や「明智かめまるFB」を積極的かつ効果的に活用することにより、より広域で効果的な亀岡の観光PRに務めてまいります。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進捗管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	観光戦略課	係	観光企画係
担当者		橋本広明	直通	0771-25-5034	内線	3133

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	5	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	るるぶ京都亀岡特別編集 第3弾発行业業									
③継続・新規	平成27年度新規事業									

④事業の概要及び目的

「保津川下り」「湯の花温泉」「嵯峨野観光鉄道」の三大観光をはじめ、亀岡の魅力ある観光資源を、観光情報誌として人気が高い「るるぶ」の特別編集として、平成23年度に第1弾を発行。その後、2年ごとに改訂し、今年度は第3弾、30万部を作成する。亀岡の観光地を「るるぶ」のブランド力を活かし効果的に全国に情報発信することで、さらなる観光入込客数の増加につなげる。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度	9月25日に30万部納品 10月1日全戸配布	9月25日に30万部納品 10月1日全戸配布	るるぶ京都亀岡第3弾 作成業務、第2弾アプリ 作成業務委託料 11,380千円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

「第3弾るるぶ特別編集京都亀岡」を30万部作成し、平成27年10月1日（木）から一斉に配布を開始しました。また、亀岡市内においては同日に全戸配布を行いました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡の観光情報等をより広く効果的にPRするため、無料の観光情報誌「るるぶ特別編集京都亀岡（ＡＢ版フルカラー１６頁）」を平成２３年８月に３０万部発行し、平成２５年１０月には「第２弾るるぶ特別編集京都亀岡（ＡＢ版フルカラー２０頁）」を同じく３０万部発行しました。さらに平成２７年度には、より内容を充実した「第３弾るるぶ特別編集京都亀岡」を３０万部発行しました。

“るるぶ”の認知度は非常に高く、同冊子を平成２３年度から継続して配布していることにより『亀岡』を広くPRし、観光客の増加や飲食店の利用客が増えるなど一定の経済効果も出たと考えています。

また、当冊子を市内全戸に配布することで、市民に亀岡の観光資源を再認識してもらい、市民自らによる「ふるさと亀岡」のPRにもつながっています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

「るるぶ特別編集京都亀岡」だけでなく、るるぶ亀岡アプリや明智かめまるFB、市HPやイベントチラシなど、様々な観光PR媒体の効果を図ることができる仕組みを検討し、さらに効果的な亀岡PRにつなげていきたいと考えています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２７年１０月に発行した「第３弾るるぶ特別編集京都亀岡」の配布計画は、平成２９年９月末までの２年としています。平成２８年３月末時点で、約１１万部配布（全戸配布含む）を終えておりますが、今後も様々なイベントやキャンペーン等において、より効果的な配布を行ってまいります。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	観光戦略課	係	観光企画係
担当者		乾芽衣	直通	0771-25-5034	内線	3133

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	5	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	観光入込客数対策事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

観光入込客数・観光消費額の拡大を目指し、亀岡市観光協会等と連携し、近隣アジア諸国など、外国からの観光誘客を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度	・平成25年観光入込客数 （外国人含む） 2,260,000人	・平成25年観光入込客数 （外国人含む） 2,268,619人 ・平成26年観光消費額（外国人含む） 55.45億円	—
平成26年度	・平成26年観光入込客数 （外国人含む） 2,280,000人	・平成26年観光入込客数 （外国人含む） 2,408,467人 ・平成26年観光消費額（外国人含む） 63.00億円	—
平成27年度	・平成27年観光入込客数 （外国人含む） 2,300,000人	・平成27年観光入込客数 （外国人含む） 2,679,348人 ・平成26年観光消費額（外国人含む） 73.04億円	—

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年の観光入込客数全体の目標を230万人とし、平成25年から平成27年まで毎年2万人増を目指します。また、3カ年の入込客数累計目標数値を6,840,000人とします。平成25年～平成27年の実績は7,356,434人であったため、進捗度107.6%となります。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの観光入込客数・観光消費額については、目標に対して実績が107.6%となり、当初目標に掲げた国内外からの観光誘客の拡大を図ることが出来ました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

観光入込客数・観光消費額については、目標を達成することが出来ましたが、増加する外国人旅行者を含め、より多くの観光客に、隣接する京都市等から一足伸ばしで本市を訪れてもらえるよう工夫する必要があります。

- 多言語版観光パンフレットの配架・配布
- 宇治市との観光連携協定による観光PRの取組
- 国内外での観光キャンペーンの実施

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き観光誘客を行うとともに、観光協会と連携し、観光キャンペーン等を通じて近隣アジア諸国などへの観光PRを強化していくこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調査

主管部課係	部等	産業観光部	課	観光戦略課	係	観光企画係
担当者		玉井しのぶ	直通	0771-25-5034	内線	3132

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	5	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	観光地案内板整備事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

観光地にふさわしい雰囲気を作るため、観光案内板などのサイン整備を推進し、観光客を迎える市民の「おもてなしの心」などの観光ホスピタリティの育成・向上を図ります。
観光案内駒札等設置一覧表により、道標・駒札の建替え目標を毎年10箇所、5ヵ年で50箇所を計画的に整備します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・市内各地における観光案内板整備、特別編集「るるぶ亀岡版」の全戸配布 ・道標・駒札建替数10箇所	・道標設置等整備 5基 ・るるぶ亀岡版の全戸配布を実施	(道標設置等整備費) 実績：474,075円
平成24年度	・市内各地における観光案内板整備 ・道標・駒札建替数10箇所	・道標設置等整備 20基	(道標設置等整備費) 実績：429,840円
平成25年度	・市内各地における観光案内板整備 ・道標・駒札建替数10箇所	・城下町駒札修繕 11基 ・観光案内駒札取替 1基 ・道標新設(亀岡園部線) 2基	(道標設置等整備費) 実績：466,655円
平成26年度	・市内各地における観光案内板整備 ・道標・駒札建替数10箇所	・観光案内駒札取替 1基 ・観光案内標識新設 1ヵ所 ・道標新設(亀岡園部線) 2基 ・道標設置等整備 13基	(道標設置等整備費) 実績：514,944円
平成27年度	・市内各地における観光案内板整備 ・道標・駒札建替数10箇所	・観光案内駒札取替 3基 ・道標設置等整備 1基 ・丹波七福神石道標制作 7基 ・道標ポール取替 1基	(道標設置等整備費) 実績：1,242,864円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

観光案内駒札等整備計画に基づき、平成23年度から平成27年度までの5ヵ年で道標・駒札の建替え目標を50箇所とします。平成23年度～27年度の道標・駒札（修繕）設置実績が68箇所となるため、進捗度100.0%とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの整備数については、目標数を超える整備を実施することができ、市内の観光地を巡っていただくための基礎的な整備を推進することができました。

また、平成25年度以降の整備した道標については英語を併記しており、近年、急増しているインバウンド（訪日外国人旅行）への対応を推進することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

観光案内駒札等については、計画的に整備することができましたが、それらの多言語化については、まだ整備率が低い状況となっています。本市を訪れる外国人観光客が円滑に市内を巡れるよう、道標等の多言語化を推進し、本市での滞在、観光をより楽しんでいただけるようにする必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

観光客をお迎えし、スムーズに市内観光地を周遊いただくため、今後においても、インバウンドに対応した道標・駒札等を計画的に整備、取替等を行ってまいります。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	観光戦略課	係	観光企画係
担当者		玉井しのぶ	直通	0771-25-5034	内線	3132

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	5	解決策	4	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	観光協会育成事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

観光振興を市民・関係者主体で総合的に進めるため、観光協会を中心として観光推進体制の強化を検討します。
観光協会を中心に実行委員会で実施したイベントや観光協会主催事業に参加する人数目標は、平成22年度実績の5%増とします。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	- 各種補助金交付 - 各種イベントでの市民との協力 - イベント参加者目標160,490人	- 観光協会の組織の充実・強化を図るため、事業推進、広報宣伝、各種イベントを実施 - イベント参加者実績168,481人	（観光協会補助経費、亀岡光秀まつり事業費等） 26,880,000円
平成24年度	- 各種補助金交付 - 各種イベントでの市民との協力 - イベント参加者目標162,080人	- 観光協会の組織の充実・強化を図るため、事業推進、広報宣伝、各種イベントを実施 - イベント参加者実績156,438人	（観光協会補助経費、亀岡光秀まつり事業費等） 29,574,000円
平成25年度	- 各種補助金交付 - 各種イベントでの市民との協力 - イベント参加者目標163,670人	- 観光協会の組織の充実・強化を図るため、事業推進、広報宣伝、各種イベントを実施 - イベント参加者実績165,238人	（観光協会補助経費、亀岡光秀まつり事業費等） 28,517,000円
平成26年度	- 各種補助金交付 - 各種イベントでの市民との協力 - イベント参加者目標165,250人	- 観光協会の組織の充実・強化を図るため、事業推進、広報宣伝、各種イベントを実施 - イベント参加者実績175,753人	（観光協会補助経費、亀岡光秀まつり事業費等） 34,528,000円
平成27年度	- 各種補助金交付 - 各種イベントでの市民との協力 - イベント参加者目標166,840人	- 観光協会の組織の充実・強化を図るため、事業推進、広報宣伝、各種イベントを実施 - イベント参加者実績187,415人	（観光協会補助経費、亀岡光秀まつり事業費等） 38,467,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成22年度イベント参加者実績158,900人に対して、平成23年度から平成27年度まで毎年1%増の目標数値として、5ヵ年の参加者累計目標数値818,330人とします。平成23年度から平成27年度までの実績累計人数は、853,325人であったため進捗度104.3%となります。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡市観光協会は、平成26年度から一般社団法人化され、組織及び事業推進体制等が強化されました。

また、（一社）亀岡市観光協会を中心に実行委員会で実施したイベント等においては、目標数を超える方に参加いただくことができ、本市の魅力を発信するとともに、にぎわいを創出することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成26年4月から、亀岡市観光協会が一般社団法人化されたことにより、組織力等が向上し、本市観光推進体制を強化することができましたが、継続性と発展性のあるにぎわい創出のため、（一社）観光協会を中心に、観光に対する市民意識の啓発を図る必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

観光振興を市民・関係者主体で総合的に進めるためにも、引き続き（一社）亀岡市観光協会を中心に、市民や観光関連事業所等と連携しながら、継続して本市のにぎわいを創出する観光のまちづくりを積極的に推進することとします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	ものづくり支援係
担当者		上園 千佳	直通	25-5033	内線	3112

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	6	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	雇用啓発事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

定期的な企業訪問や企業との懇談を通じて、企業への地元雇用の拡大・安定化を促進・要請しています。また、ものづくり産業雇用支援助成金制度により、地元雇用、正規雇用の促進を図っています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・理事者等による企業訪問 ・地元雇用拡大のための助成事業	・理事者等の企業訪問（9社） ・ふるさと雇用緊急支援助成金の交付（延50件）	14,960,000円
平成24年度	・理事者等による企業訪問 ・地元雇用拡大のための助成事業	・企業訪問（40社） ・ふるさと雇用緊急支援助成金の交付（延25件）	7,000,000円
平成25年度	・理事者等による企業訪問 ・地元雇用拡大のための助成事業（延30件）	・企業訪問（83社） ・ふるさと雇用緊急支援助成金の交付（延12件）・ものづくり産業雇用支援助成金（延15件）、計27件	7,110,000円
平成26年度	・理事者等による企業訪問 ・ものづくり産業雇用支援助成事業（延30件）	・企業訪問（115社） ・ものづくり産業雇用支援助成金（延22件）	6,440,000円
平成27年度	・理事者等による企業訪問 ・ものづくり産業雇用支援助成事業（延30件）	・企業訪問（113社） ・ものづくり産業雇用支援助成金（延34件）	13,060,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度に実施する事業を行いました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

定期的な企業訪問や企業との懇談を通じ、また、ものづくり産業雇用支援助成金制度により、企業への地元雇用の拡大・安定化を促進・要請した結果、地元住民の雇用に一定の成果がありました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

本市においても、少子高齢化や人口減少の影響により、地元からの応募者数が少ないといった企業の声があることなどから、効果的な就職マッチングの方法等を更に検討し、地元雇用の促進に繋げていく必要性があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

本市が直面している少子高齢化、人口減少問題が地元の雇用に大きな影響を与えているとも考えられるため、今後、定住促進の観点からも、関係機関とも更に連携を図り企業訪問等を実施し、効果的な就職マッチング方法等の検討を行う中で、事業の実施に取り組んでいきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	商工振興係
担当者		小林真樹	直通	0771-25-5033	内線	3113

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	6	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	就労支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

求職者への就労支援の充実に向け、求人関連情報の提供及び就労に関するセミナー及び個別相談会を開催します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・就職支援セミナーの開催 ・個別相談会の開催 ・情報コーナーでの情報提供	ものづくり産業就業フェア（1回）、就職支援セミナー（1回）、個別相談会（1回）、情報コーナー開設	・759,574円
平成24年度	就職支援セミナー、個別相談会の開催、情報コーナーでの情報提供	ものづくり産業就業サポートミーティング（1回）、就職支援セミナー（1回）、個別相談会（2回）、情報コーナー開設	・767,426円
平成25年度	就職支援セミナー、個別相談会の開催、情報コーナーでの情報提供	就職支援セミナー（4回） 個別相談会（8回） 情報コーナー開設	・850,000円
平成26年度	就職支援セミナー、個別相談会の開催、情報コーナーでの情報提供	就職支援セミナー（2回） 個別相談会（9回） 情報コーナー開設	・85,768円 ・811,706円
平成27年度	就職支援セミナー、個別相談会の開催、情報コーナーでの情報提供	就職支援セミナー（2回） 個別相談会（9回） 情報コーナー開設	・24,515円 ・834,384円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度に実施する事業を行いました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

毎年度計画どおり就労支援事業が実施できており、求職者への就労支援の充実について一定の成果がありました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

さらなる求職者への就労支援の充実に向け、広報活動の強化等を検討する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、求職者への就労支援の充実に向け、広報活動等を強化していくこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	商工振興係
担当者		小林真樹	直通	0771-25-5033	内線	3113

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	6	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	就労支援事業・職業情報コーナー									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

職業情報コーナーにおいて情報提供を行うとともに国・府の制度活用等による雇用対策を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・職業情報コーナー開設による情報提供 ・雇用促進協議会による情報提供	職業情報コーナーでの情報提供（約20件）、府緊急雇用事業雇用（22事業136人）、雇促協情報分（71件165人）	・ 76, 587, 708円
平成24年度	・職業情報コーナー開設による情報提供 ・雇用促進協議会による情報提供	職業情報コーナーでの情報提供（約20件）、府緊急雇用事業雇用（17事業80人）、雇促協情報分（82件177人）	・ 57, 782, 555円
平成25年度	・職業情報コーナー開設による情報提供 ・雇用促進協議会による情報提供	職業情報コーナーでの情報提供（約25件）、府緊急雇用事業雇用（11事業51人）、雇促協情報分（61件226人）	・ 46, 441, 311円
平成26年度	職業情報コーナー開設による情報提供、雇用促進協議会による情報提供、府緊急雇用事業（地域人づくり事業）	職業情報コーナーでの情報提供（約25件）、雇促協情報分（71件191人）、府緊急雇用事業雇用（10事業28人）	・ 28, 315, 676円
平成27年度	職業情報コーナー開設による情報提供、雇用促進協議会による情報提供、府緊急雇用事業（地域人づくり事業）	職業情報コーナーでの情報提供（約25件）、雇促協情報分（74件212人）、府緊急雇用事業雇用（4事業16人）	・ 34, 297, 605円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度に実施する事業を行いました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

毎年度計画どおり職業情報コーナーにける情報提供、府緊急雇用事業の活用が実施できており、雇用対策について一定の成果がありました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成27年度で府緊急雇用事業が終了したため、新たな雇用対策を検討する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、雇用対策支援の充実に向け、広報活動等を強化していくこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	商工振興係
担当者		小林真樹	直通	0771-25-5033	内線	3113

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	6	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	就労支援事業・職業情報コーナー									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

職業情報コーナー等により、国・府の制度を活用し、就業や職業転換を希望する人への職業能力訓練・技術取得に関する情報を提供し、機会の充実を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	職業情報コーナー等により、職業能力訓練、技術取得制度等の情報を提供する。	職業情報コーナー等により、情報を提供した。	・ 752, 539円
平成24年度	職業情報コーナー等により、国・府の制度の情報を提供する。	職業情報コーナー等により、情報を提供した。	・ 751, 710円
平成25年度	職業情報コーナー等により、国・府の制度の情報を提供する。	職業情報コーナー等により、情報を提供した。	・ 749, 666円
平成26年度	職業情報コーナー等により、国・府の制度の情報を提供する。	職業情報コーナー等により、情報を提供した。	・ 811, 706円
平成27年度	職業情報コーナー等により、国・府の制度の情報を提供する。	職業情報コーナー等により、情報を提供した。	・ 834, 384円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度に実施する事業を行いました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

毎年度計画どおり職業情報コーナーにける情報提供が実施できており、就業や職業転換を希望する人への機会の充実について一定の成果がありました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

就業や職業転換を希望する人へのさらなる機会の充実に向け、広報活動の強化等を検討する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、広報活動等を強化していくこととします。